

# 日本医師アマチュア無線連盟会報

No.79

日本医師アマチュア無線連盟  
THE MEDICAL AMATEUR RADIO SOCIETY OF JAPAN

8J2M  
8J9M  
8J0M

医学と医療の深化と広がり  
～ 健康長寿社会の実現をめざして ～

第30回 日本医学会総会  
2019 中部 記念局  
An event station for the 30th General Assembly of  
the Japan Medical Congress 2019 Chubu

## 第 43 回MARS長野総会報告

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

第 43 回日本医師アマチュア無線連盟長野総会は令和元年(2019 年)5 月 11 日(土)～12 日(日)に長野県上田市にて開催され盛会裡に終わることが出来ましたことを感謝しつつご報告申し上げます。総会の開催時期と名古屋で開催された第 30 回日本医学会総会が 4 月下旬に開催されて、記念局運用等も重なり、それ

ぞれの地域の MARS 会員にはご不便をお掛けし申し訳なく思っております。

丁度大きな時代の区切りの時期にあたり、混乱を避けるために、止むを得ず MARS 総会の時期ならびに開催場所を変更して行いましたが、JI1VAH 天谷龍夫先生の卓越したご尽力により、有意義な MARS 総会が開催されました

ことを心から感謝申し上げます。

MARS 総会は上田市の東急 REI ホテルにて午後 5 時から開催され、長野総会開催にあたり、準備担当の天谷龍夫先生から、長野総会になる経緯等のご説明と併せて上田市の史跡、上田城のことや真田三代のゆかりの地であることなども併せて紹介があり、地元の歴史に詳しい上田市教育委員会から和根崎 剛先生をお招きして、特別講演を頂く等のご連絡を頂き総会運営へのご苦勞に感謝申し上げます。

次いで MARS 会長の及川忠人から、特に JI1VAH 天谷龍夫先生の総会設営へのご尽力に対して心からの感謝をお伝えして今回の上田市での総会開催に至った経緯について簡単にご説明申し上げます。

総会は議長選出から開始され、MARS 総会の議長に JH7QFA 渡辺孝志先生を選出して、議事に入りました。

平成 30 年度庶務報告が JL1BGP 井上文正先生から MARS 活動報告がなされ、会計の実務が JF3MTM 柴田敏弥先生に移管されていることが報告され、庶務全般についての報告がなされました。次いで平成 30 年度活動報告が行われ、MD ネットは 7MHz 帯のロールコール報告が JH7QFA 渡辺孝志先生より成されました。特に今年の 1 月末からは全くコンタクト出来ない日が連続 4 日も続いたことがあります。またローカルスキップもあり、JR6EZJ 局、JH3AEF 局の応援を得てようやく 7 エリアは繋がるような状況が続きました。5 月になりよりコンディションが良くなり 5 月 8 日は 13 局との交信が成立したことが報告されました。次いで 3.5MHz 帯の報告は書面にて JA1KXT 相田信男先生から報告され、2018 年 4 月から 2019 年 3 月までの交信記録が送付されました。この

バンドは比較的安定して運用継続が出来て有難いと思っております。

尚相田信男先生には第 30 回日本医学会総会記念局の記念カードの作成にご尽力頂き素晴らしいカードならびにダイヤモンドステッカーを作成して頂きましたことをこの場をお借りして御礼申し上げたいと思います。この活動については、総会資料として詳しくご報告がありましたので、その報告書類を参考にして頂ければ幸いです。

MARS NEWS については昨年、日立総会報告号として 78 号が発刊されており、合わせて、コールブックも発刊されており、田中憲児先生の御尽力に心から感謝申し上げます。

MARS Home Page は JH3TCC 家田勝幸先生より報告がなされ、今回は特に 2 月～4 月に運用された日本医学会総会記念局運用に係る連絡が多数連絡メールとして利用されたことが特徴的であったことが報告されました。

MARS アワードについては JI1VAH 天谷龍夫先生から日立総会から 10 枚のアワードを発行したことが報告され、年間アワード賞も懇親会にて抽選決定されております。

次いで第 30 回日本医学会総会 2019 中部記念局の運用結果が、交信総数が JI1VAH 天谷龍夫先生により集計されその結果が報告されました。今回は 8J2M, 8J9M, 8J0M 毎の交信件数が全体で 12,390 局になり、これまでの運用局数としての最高を記録することが出来ました。各局それぞれのエリアにおける活動が混乱もなく行われましたことに、関係各局の御支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

平成 30 年度決算報告と監査報告がなされ、

一部修正を含めて報告がなされて、経過等について報告され、承認されました。次いで議事が論議されました。平成 31 年度の活動計画として前年度の活動計画を踏襲して、MARS 会員の拡大ならびにドクターネットへの参加案内を積極的に進め、新しい通信方式等にも積極的に取り組む方向で進めることが提案され承認を頂きました。

MARS 役割分担について特に会計と庶務の分担について、役割分担が必ずしも不明瞭な面もあるが、今後調整することとこれまでの分担については継続することが承認された。令和元年の予算については、今回の第 30 回日本医学会総会 2019 中部記念局運用に費用がかかっていることを踏まえて、予算編成を再度提案することが認められました。

総会のその他の事項で話題となったのは、MARS 会員の資格について、医師のみの資格に限定したままでは、局数も限られることもあり、コメディカルの方々についての入れることも検討すべきではないかとの意見が出されましたが、今後、さらに検討することになりました。

総会を終了して後午後 6 時から特別講演会が開催されました。講師は上田市教育委員会生涯学習・文化財課 和根崎 剛先生から「徳川を二度も打ち破った上田城」という興味ある演題を頂き、郷土色豊かな御講演を頂きました。特に真田三代の歴史と上田城の石垣の形状を歴史的に見直すこと等、戦国武将真田家の歴史的背景を踏まえながら興味のある御講演でありました。郷土歴史研究に命を懸けて進んでいる姿はとても素晴らしいと感銘を受けた次第であります。

懇親会は立派な夕食会となり、懇談の中で、

J11VAH 天谷龍夫先生より「衛生通信による記念局運用」という演題にて、御自分の衛星通信の経験から軌道計算や衛星通信の特徴と面白さを平易にご紹介頂き有難い時間となりました。

翌日のエクスカージョンは真田氏発祥の地を訪れて、長野県の急峻な山並みが、戦国時代の境界線として極めて厳しい地域的情勢にあったことが実感として迫るものがありました。また真田三代が如何にこの地域の人々から敬愛の念を持たれているかが、分かるようなエクスカージョンでありました。素晴らしい昼食を頂き、郷土色豊かな、MARS 長野総会を無事に終了することが出来たことは感謝でありました。幼少期に漫画で読んだ真田十勇士等の勇壮な活躍はこのような地域の方々の御理解と御支援があってこそ成り立つのではないかと、地域の歴史と文化を大切にしているこの上田市の対応には学ばされることが多いと思いました。



いずれにしても、このような貴重な歴史文化を学ぶ機会を作って頂きました J11VAH 天谷龍夫先生に重ねて感謝の意を申し上げまして MARS 長野総会の報告に替える次第であります。

# MARS 会員都道府県別分類

## J A 1 15局

東京都 JA1FF JA1BOW JF1SXY  
 JK1AIN JL1BGP JP1HIS  
 神奈川県 JH1IAA JE1TNL  
 埼玉県 JR1CDJ JR1JIC JL1LRJ  
 茨城県 JI1VAH  
 群馬県 JA1KXT JR1SJD  
 千葉県 JM1BIX  
 栃木県 なし  
 山梨県 なし

## J A 2 10局

愛知県 JA2DQH JH2QBQ JR2AXV  
 JR2GSI  
 静岡県 JR2RWU  
 岐阜県 JA2MTE JR2FGQ JR2GPR  
 JS2BBE  
 三重県 JK2ACI

## J A 3 25局

京都府 JA3ASU JR3JJQ JF3BIE  
 JF3ITN  
 大阪府 JA3BQT JH3AEF JF3EKP  
 JF3MTM JG3WSI JL3SIK  
 JM3FUW JO3VKD  
 滋賀県 JF3PMG  
 兵庫県 JA3XED JH3GOB JH3QMF  
 JF3LPM JO3RUL  
 奈良県 なし  
 和歌山県 JH3TCC JF3JON JI3CIN  
 JJ3KUL JM3BCQ JN3ASW  
 JP3NGG

## J A 4 3局

岡山県 JE4EWM(exJA5LDZ)  
 広島県 JH4DPL JH4UYB  
 鳥取県 なし  
 島根県 なし  
 山口県 なし

## J A 5 1局

香川県 なし  
 徳島県 なし  
 愛媛県 なし  
 高知県 JH5KAJ

## J A 6 6局

福岡県 JA6BMB JA6RQK JH6IBM  
 JE6IUM  
 大分県 なし  
 熊本県 JE6MRG  
 宮崎県 なし  
 鹿児島県 なし  
 佐賀県 JR6EZJ  
 長崎県 なし  
 沖縄県 なし

## J A 7 15局

青森県 なし  
 秋田県 なし  
 岩手県 JA7AOM JA7PPA JH7HVF  
 JH7HIR JH7OLB JH7XGQ  
 山形県 なし  
 宮城県 JA7EVM JA7WTH JH7CAI  
 JH7EQW JH7QFA JP7DMV  
 福島県 JA7NME JO7XVL JP7FSO

## J A 8 1局

北海道 JA8JDQ

## J A 9 3局

富山県 なし  
 石川県 JK1QLR  
 福井県 JE9RWF JR9FQO

## J A 0 3局

新潟県 JH0LME JR0NQU JR0QWW  
 長野県 なし

\_\_\_\_\_は他エリアからの移動局

**計82局**

(2019年10月現在・2年以上会費未納局は除く)

# 第43回日本医師アマチュア無線連盟長野総会報告

J1VAH 天谷 龍夫(茨城県日立市)

令和元年5月11日 上田東急REIホテル(長野県上田市)

2018年4月に、第42回医師アマチュア無線連盟日立総会を主催してほっと一息ついたときに、何故2年も続けて総会の準備に奔走したか、記述しておきます。

2019年は、4年に一度の日本医学会総会が名古屋で開催されます。4年前の日本医学会総会は京都で行われ、同一期間に MARS 総会も京都で行われました。前回は、JA3ASU 狭山先生にお骨折りいただき、総会、宿泊、エクスカッションが準備されました。今回は日本医学会総会は2エリア名古屋での開催ですが、MARS 会員の中にはアクティブな2エリアの会員は JH2QBQ 局以外はおられませんでした。日本医学会総会との同時開催は、ゴールデンウィーク期間で、宿泊もアクセスも大変であろうと予想できました。そんな中、具体的な開催案などなく時間が過ぎていきました。9月下旬に、JA7AOM 及川会長から「来年の総会はどうなっているのですか」という問い合わせが当局のところがありました。記念局運用で医学会総会事務局と交渉されていた JH3AEF 東條先生にお聞きしたところ、MARS 総会のほうは、ノータッチですから執行部で準備してくださいとのことでした。今回は日本医学会総会との同時開催の可能性もあり、前回の日立総会時に次期総会の責任者も決めていませんでした。よって、2019年の MARS 総会が完全に宙に浮いた状

態になっていました。そこで会長と相談の上、GW を少しずらした時期に2エリアで開催したらどうかということになりました。ところが、MARS 総会に適した場所が2エリアではなかなか見つからず、幹事をしてくれそうな局も見つかりませんでした。日本医学会総会中部ですから、2エリアに限定せず、0エリア、9エリアまで候補を広げたらどうかということになりましたが、9エリアは日立総会の前年度は金沢で JE9RWF 岩堀 OM にお世話になったばかりです。0エリアは、アクティブな JH0LME 局と JR0NQU 局がおいですが、急遽 MARS 総会の幹事をお願いできるような環境ではありませんでした。

そこで、前年の日立総会で事務的な資料も全部残っている当局が幹事となって、0エリアで開催してはどうかということになりました。日立総会でお世話してくれた旅行会社もそのまま連絡が取れますし、なによりも、総会の規模、雰囲気、エクスカッションの値段より質を重視する方向性などを理解している担当者にもう一度お願いすることにしました。

0エリアで全国的の知名度のあるのは、やはり軽井沢です。一度、軽井沢プリンスホテルで豪華に MARS 総会を開くのもいいかなと思い、予約を入れてもらいました。仮予約ができたので、メーリングリストで日時と場所をアナウンスしたのですが、その後、その日は宿泊は

OK ですが、総会会場の会議室が一杯で確保できませんの連絡があり、他の候補日は及川会長の日程が合いませんでした。

軽井沢の他のホテルにもあつたのですが、やはりリゾート地なので、会議室のあるホテルは見つかりませんでした。唯一、北軽井沢ホテルには会議室もあり、宿泊も確保できたのですが、JR 軽井沢駅から車で40分、夜はタクシーもないとのことでアクセスが悪く断念せざるを得ませんでした。さらに範囲を佐久、小諸、まで広げて探してもらいました。そこで候補に挙がってきたのが上田市でした。地方の小都市ですが、駅前にきれいなホテルがあり、東京から新幹線で1時間半です。何よりも魅力だったのが、上田市は、真田三代の地で、歴史的な史跡満載です。総会よりもエクスカッションのほうがはるかに面白くなりそうと感じました。

総会の幹事をやって頭を悩ますのは、学術講演の演者依頼です。Oエリア方面には、医学関係の知人も居ませんでしたし、この際今回は思い切って医学から離れ、歴史をじっくり勉強するのも一考ありと思いました。

しかし、歴史関係の話をしてくれる知人も居ませんので、まず、上田市観光協会に電話してみました。真田家の歴史に関し1時間ほど講義してもらえる地元の歴史研究家を紹介してもらえませんか、とお願いしました。観光協会では適任者がわかりませんので、行政のほうに電話してくださいということでした。さっそく上田市役所に電話すると、教育委員会のほうがいいのではないかと、電話をつないでくれました。いろいろお話をしたところ、上田市教育委員会生涯学習・文化財課 和根崎剛様を紹介してくれました。外出からの帰りを待って再度電話をすると、こちらの主旨を理解していただき、総会時に講

義をしてもらえることになりました。さらにエクスカッションで訪ねたい場所をお話したところ、総会の講演会とセットで翌日も私が案内しようということになりました。

その後、上田市の史跡案内や和根崎先生のお書きになった文章などが送られてきました。その中で、プラタモリというワードがたくさん出てきました。私は、プラタモリファンで毎回欠かさず見えています。以前、真田丸スペシャルといって、「プラタモリ」と鶴瓶の「家族に乾杯」が同時に放送された会がありました。プラタモリは、真田幸村役の堺雅人がゲストで、タモリと桑子アナウンサーと共に上田城の謎解きをしていました。そのときの案内人が今回の和根崎剛先生でした。

まさに今回の講演会に適任の方が見つかりました。さらに翌日は面白いエクスカッションになると予想できました。エクスカッションの昼食に関しても、旅行会社が提案してきた案は当初川魚料理でした。和根崎先生に相談したところ、地元の人なら鯉やウグイの川魚料理でも普段食べなれていますが、他の地域の方には癖がありますよ、など直接アドバイスをいただき、皆さんのお口に合うように信州そばの蕎麦会席を予約することができました。そんなわけで無事、講演会、エクスカッションの準備が整いました。領収書やネームプレート作成のソフトは昨年のもをそのまま活用しましたので、新規に幹事を努めるよりはすこしは楽だったかもしれません。ただし、2月1日から4月30日まで、日本医学会総会記念局の運用がありましたので、そのルール作りや運用のため、あっという間に4月は終わり、5月になってしまいました。

総会は、4時半受付開始、5時より開始されました。議長に JH7QFA 渡辺先生を選出し、

議事に入りました。

長野総会開会挨拶 JI1VAH 天谷龍夫  
(茨城県)

MARS会長挨拶 JA7AOM 及川忠人  
(岩手県)

議長選出 JH7QFA 渡辺孝志氏を選出



議事

1、平成30年度庶務報告 JL1BGP 井上文正(東京都)

2、平成30年度活動報告

MDネット 7MHz JH7QFA 渡辺孝志  
(宮城県)資料2

3.5MHz JA1KXT(欠席)資料1

MARSニュース JF3JON(欠席)

MARSホームページ JH3TCC 家田勝幸  
(和歌山県)資料3

MARSアワードJI1VAH 天谷龍夫

8J2M、8J9M、8J0M 運用報告

3、平成30年度決算報告及び監査報告

JF3MTM 柴田敏弥(欠席)

JA1FF 国府田守雄(東京都)

4、議事

平成31年度活動計画(案) JA7AOM  
及川忠人

各役割分担について(案)

各作業謝礼について(案)

MARS 総会開催について(案)

MARS 会員資格について(案)

MARS アワードについて(案) JI1VAH 天谷龍夫

平成31年度予算(案) JF3MTM(欠席)

講演会

講師 上田市教育委員会 生涯学習・文化財課  
和根崎 剛 先生

午後6時からは和根崎剛先生による講演会で、タイトルは、『徳川を2度も打ち破った上田城～ブラタモリのウラ話を交えて～』でした。



敵対する北条、上杉、徳川の領地に囲まれていながら、上田城は、なぜ2度の徳川の猛攻にも耐え、落城しなかったか、その秘密を、歴

史から地形、築城の秘密まで幅広い視点から講義してもらいました。また、NHK「ブラタモリ」記念撮影

の収録時の逸話など普段聞けることのないとても興味深く面白い内容でした。



日本医師アマチュア無線連盟 長野総会  
令和元年5月11日 於 上田東急REIホテル

### 懇親会

懇親会は午後7時から、ホテル3階「すずらんの間」で JA1FF 国府田先生の乾杯の御発声で開始されました。途中、JI1VAH 天谷による「衛星通信による記念局運用」があり、サテラ

イト通信の基礎の説明、終えたばかりの 8JnM の運用の様子が、ビデオで上映されました。



2次会は、午後9時過ぎから、ひとつの卓を囲んで11時過ぎまで語り明かしました。各局心地よい疲れを感じながら就寝しました。

## エクスカージョン

日曜日は快晴でした。7時過ぎから各局、朝食を済ませ、9時にバスにて真田三代の史跡めぐりに出発しました。今回は、多くの史跡をめぐるよりは、場所を絞ってじっくり案内してもらおうにしました。まず、30分ほどかけて真田氏館跡に到着しました。



ここには450年前真田幸村の父真田昌幸が住んでいた場所です。併設された真田氏歴史館がありますので、貴重な資料をじっくり見学し、徒歩で館跡まで移動し、和根崎先生の案内で真田一族の歴史を説明してもらいました。その後、バスで市の中心街にある上田城に移動し、番組でタモリと桑子アナがたどったコースを案内してもらいました。やはり上田城の城壁は魅力的で、石組みを見るだけで、豊臣家滅亡の後、上田城の破壊と再構築の歴史を肌で感じられました。





堀の謎などは、和根崎先生にしかわからない秘密を教えてくださいました。ゆっくり上田城の散策を終え、お腹も空いてきましたので、信州そばをいただきに「さなだ庵」までバスで移動しました。



上品な蕎麦会席料理で場所も駅前ですので、電車の時間までゆっくりといただくことができました。お腹もいっぱいになり、皆さんと多くを語り、そして1年後の再会を約束し、各局は上田駅で解散しました。

今回は、2年連続の総会幹事を引き受け、総会の場所選定にとっても難儀しました。終わってみれば、予想もしなかった上田市という人口16万人ほどの地方都市での開催となりましたが、そこには気がつかないほどの歴史と魅力がありました。また、NHK ブラタモリの「真田丸」スペシャルで上田城を案内された市教育委員会の和根崎剛先生との偶然の出会いも忘れがたい思い出になりました。和根崎先生の上田城の歴史研究者としての情熱を感じましたし、上田市に対する地元愛というものもひしと感じられました。当初の予定通り、すんなりと軽井沢プリンスホテルで開催できていたら、これほどまでの充実した講演会とエクスカージョンが開催できたか疑問です。塞翁が馬を地で行ったような総会とエクスカージョンでした。各局ありがとうございました。みなさん、また来年お元気でお会いしましょう。CU AGN 73 DE JI1VAH

## 第30回日本医学会総会記念局 8JnM・QSL 関係報告

JA1KXT 相田 信男 (群馬県渋川市)

- 1) 記念局のカードデザインは、医学会総会事務局に交渉していただいた上で同会のHPの画像を流用し、レポート面はMARS会員の注文により3種類用意した。
- 2) 白紙レポート面印刷にTurboHamlogを利用できるように、定義ファイル用のデータを配布した。
- 3) カード追加印刷の必要を生じ二度の追加注文を行ったが、MLでの受注で比較的スムーズに作業が進んだと振り返っている。

## 4) 会計報告は次の通り：――

・カード印刷代(白紙 9000 枚)	76,475 円
カード印刷代(JM1ZZM+8JnM/x 1000 枚)	12,499 円
カード印刷代(8JnM 250 枚)	7,999 円
カード印刷代(追加白紙 3500 枚)	39,030 円
カード印刷代(追加白紙 2000 枚)	22,875 円
・ダイヤモンド・ステッカー印刷製造代(2000 枚)	14,830 円
・デザイン他、製作費	30,000 円
・郵送料	37,210 円
＊	合計 234,348 円

平成31年3月31日

## 2018年度日本医師アマチュア無線連盟会計報告書

収		入	
項 目	予算案	決 算	備 考
前年度繰越預金	1,572,729	1,572,729	
前年度繰越現金	5,182	5,182	
会費	500,000	625,000	
定期預金金利		19,619	ゆうちょ銀行(前任会計)
受取利息	5	9	
合 計	2,077,916	2,222,539	

支		出	
項 目	予算案	決 算	備 考
MARSアワード 景品代	30,000	22,950	
ホームページサーバー代		228,096	
ホームページ管理料	120,000	120,000	
JARL年会費		30,600	
会報作成料	100,000	93,636	
総会講師謝礼金		100,000	
事務員謝礼金	60,000	60,000	前任会計処理者
会議費		12,000	
印紙代		12,900	
旅費交通費		105,430	各種手続時交通費(総通局等訪問)
振込手数料		6,210	
送料・郵送料	10,000	70,635	
事務業務委託費		188,513	各会員事務作業実費
事務用品費	3,000	85,746	
総会助成金	100,000	100,000	
慶弔費	20,000		
雑費	2,000		
合 計	445,000	1,236,716	

次年度繰越金	985,823
--------	---------

項 目	金 額
預 金(池田泉州銀行)	976,381
現 金	9,442
合 計	985,823

会計報告日	2019年3月31日
会計報告者	JF3MTM 柴田 敏弥

## MARSアワード報告

## JI1VAH 天谷龍夫

昨年の日立総会で報告して以来、今年度は10枚のMARSアワードを発行しました。

## MARSアワード I

## A賞

193 JA3FSF 中川 誠

## B賞

特 記

192 JA3TXC 山野 博史

SSB

194 JP1EMV 出浦 偉緒夫

7MHz JT65 同一都道府県

195 JA1CTX 木原 満司

430MHz FM

196 JA6TNT 仲野 正基

7MHz SSB

## MARSアワード II

## A賞

A-17 JA0BYV 佐藤 敏夫

A-18 JA3HYV 中谷 一三

A-19 JH1KZQ 濱野 茂

A-20 WL7CG Alan Sorum

## B賞

B-18 JA0BYV 佐藤 敏夫

年間賞 MARSアワード I の申請者は JA3FSF JA3TXC JP1EMV JA1CTX JA6TNT

上記5名から総会で抽選した結果、年間賞は JP1EMV に決定

## 収支報告

## 収入

## 支出

前年度繰越 275 円

送料 2,610 円 (290×9) + \$3

申請手数料 3,200 円 (800×4)

B4クリアファイル 10 枚@798×5 3,990 円

1名障害者手帳

クリアポケット(60)@540×3 1,620 円

計 3,475 円

計 7,930 円

$3,475 - 7,930 = -4,455$  円

## MARSアワード年間賞

YAESU VX-3 22,950 円 + 送料 950 円 = 23,900 円

年間賞に関しては、本部決済です。

いきれなくなります。

昨年まで、205 円で送っていたものが、料金改正になり送料 290 円に増えました。申請手数料が入るのは、MARSアワード I のみなので、MARSアワード II の申請が増えると、賄

記念局運用にて今後申請手数料0円のアワード II が増えると思います。送料分が不足しますので、年間賞の廃止など考慮する時期かも知れません。

## 第43回日本医師アマチュア無線連盟長野総会出席者(敬称略)

お名前	コールサイン	
国府田 守雄	JA1FF	東京都
天谷 龍夫	J11VAH	茨城県
井上 文正	JL1BGP	東京都
安齋 雅夫	JL1LRJ	埼玉県
東條 純一	JH3AEF	大阪府
家田 勝幸	JH3TCC	和歌山県
及川 忠人	JA7AOM	岩手県
黒田 直人	JA7NME	福島県
黒田 奥様	JA7NME XYL	福島県
菊池 俊彦	JH7HVF	岩手県
渡辺 孝志	JH7QFA	宮城県
高瀬 信弥	JP7FSO	福島県
岩堀 嘉和	JE9RWF	福井県
山本 賢	JR0NQU	新潟県
山本 みちこ	JR0NQU XYL	新潟県

## 日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に42年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

## 1) 総会と懇親会

毎年4～5月の土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。(令和2年は5月23日に大阪市において開催予定)

2) 毎週水曜日の朝 3.565MHz LSB(06:00～06:30 by JA1KXT)及び 7.150MHz LSB(06:30～07:00 by JH7QFA)、また**金曜日の夜 3.526MHz CW(22:00～by J11VAH)『CWは今年から開始』**付近でロールコール(MD ネット)を行っている。

3) 日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS ニュース)を毎年発行している。

4) MARS 医学アワードおよび MARS 医学アワードIIを発行している。

5) クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6) 日本医学会総会記念局(8JnM)を、医学会総会開催年に設置・運用している。

7) MARS のホームページを開設している。

URL は <http://www.jmars.jp/>

8) MARS メーリングリストを開設している。

加入申請は、[jh3tcc@jarl.com](mailto:jh3tcc@jarl.com) まで。

事務局: 〒028-7303 八幡平市柏台 2-8-2

東八幡平病院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 0195-78-2511

F A X 0195-78-3437

E-mail [tadato@rnac.ne.jp](mailto:tadato@rnac.ne.jp)

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法 : MARS ホームページの TOP ページから入会申込書入手しご記入の上、事務局 まで E-mail にてお送りください。

会長 及川忠人(JA7AOM)

## 資料1

**MARS 80m MD-net (2018.4.~2019.3.) 記録 / 毎水曜日 (0545JST~)0600~0630**

参加局: JR1CDJ, JR1SJD, JI1VAH, JL1BGP, JL1LRJ, JH3AEF, JH3GOB, JH3MTM, JA7AOM, JH7QFA, JH7HVF, JP7FSO, JE9RWF, JH0LME, JA1KXT

date	stn's	other data	date	stn's	other data
2018年4月4日	12	日立桜満開	2018年10月3日	11	30/IX台風24号
2018年4月11日	11	福島桃満開、仙台桜満開、盛岡桜未だ	2018年10月10日	14	(#30医学会総会事前登録実施しつつある)
2018年4月18日	13	(21~22日 MARS総会@日立)	2018年10月17日	13	ややノイズあるもFB Condx
2018年4月25日	12		2018年10月24日	14	FB Condx GOB:全国QRK5と
2018年5月2日	10	GW真ん中。ザーっというQRN	2018年10月31日	14	岩手初雪
2018年5月9日	12	3-7間シビア	2018年11月7日	14	(記念局免許申請準備進んでいる)
2018年5月16日	11	FB Condx	2018年11月14日	14	0605~6JSTにバンド漸く開く
2018年5月23日	10	FB Condx 新緑のシーズン迎える	2018年11月21日	14	0610JST過ぎてから開く、それまでスキップ
2018年5月30日	11		2018年11月28日	11	
2018年6月6日	12		2018年12月5日	11	(この頃からしばらくはMC/KXT:500Wに)
2018年6月13日	14	(JA1ANの計報届く)	2018年12月12日	13	
2018年6月20日	12	clearなbandだが近場もQSB	2018年12月19日	13	
2018年6月27日	10		2018年12月26日	11	JH7HVF 初check in
2018年7月4日	11	先週末から西日本の豪雨・大被害	2019年1月2日	10	Condx良くない(MC500W→1KW)
2018年7月11日	11		2019年1月9日	13	
2018年7月18日	12	BGP:関ハム面白かった	2019年1月16日	9	vy NG Condx
2018年7月25日	13	VAH:メゾアブーカ月早い	2019年1月23日	11	QRN ↓ FB Condx
2018年8月1日	12	AEF:稲妻型IV	2019年1月30日	13	Condx NG(久しぶりで全国一巡一筆書きならず)
2018年8月8日	13	LRJ/0	2019年2月6日	13	0545JST開けていたが0600からCondx dwn(同上)
2018年8月15日	8		2019年2月13日	11	NG Condx(AOMIに一部MCを依頼)
2018年8月22日	13		2019年2月20日	11	0610JST過ぎてから開く。
2018年8月29日	9		2019年2月27日	13	Condx 改善方向へ(MC1kw→200W)
2018年9月5日	11	4/IX台風2号上陸・大阪大被害	2019年3月6日	13	パタパタノイズ(JH3AEFラウンドに入れず)
2018年9月12日	10	(来春MARS総会の話が始め)	2019年3月13日	11	FB Condx
2018年9月19日	11	vyFB Condx	2019年3月20日	12	記念局の話で盛り上がる
2018年9月26日	12		2019年3月27日	15	vy FB Condx

新入会員の先生方です。よろしくお願ひします。

JR2RWU	佐野 克行 先生	静岡県掛川市
JK2ACI	若林 致雄 先生	三重県四日市市
JF3LPM	北村 秀之 先生	兵庫県神戸市北区
JG3WSI	小笠原 将之 先生	大阪府箕面市

## 資料2

## 日本医師アマチュア無線連盟

第43回MARS総会(長野県上田市)

令和元年、5、11～5、12

7M (40m) ロールコール

平成30、4、25～令和元年、5、8

局名	コンタクト回数
JA1FF	7
JR1CDJ	17
JL1BGP	14
JL1LRJ	9
JI1VAH	35
JH2QBQ	14
JH3AEF	39
JH3GOB	28
JH3TCC	23
JF3JON	3
JA6BMB	29
JH6IBM	10
JE6EZJ	40
JA7AOM	35
JH7HVF	6
JH7QFA	49
JP7FSO	40
JE9RWF	23
JH0NQU	28

以上 19局



今年の7Mも6時30分からの時間帯は太陽の黒点ゼロの日が続きお空のコンディションは昨年度と同じ、パワーを入れても電波は宇宙の彼方に消えて行くだけで今年の1月末からは全くコンタクト出来ない日が連続4日も。

7から全国的にコンタクト出来たのは1.2回程度、何時もの朝の時間帯だけで無くてすべての時間帯でそんな感じ。

それでもローカルスキップの中、JR6EZ Jさん JH3AEFさんに常時応援を頂きました。また2のJH2QBQさん、6のJA6BMBさん、JH6IBMさんにもお世話になっております。

コンタクト回数ですが今期もQFAはQRTした1月2日以外は全てお休み無しでした。当日はカウントしておりません。

昨年秋からJH7HVF菊池先生が参加、今後も新局の参加が待たれます。

さて今週今期最後のコンタクト5月8日(水)は今期最高のコンディションで7から13局とコンタクト出来FBでした。

令和元年も何時もの時間帯、お空が賑やかになる事を期待しております。

令和元年5月9日

MARS 7Mキーステーション

JH7QFA (渡辺孝志) 記

車のナンバーは430

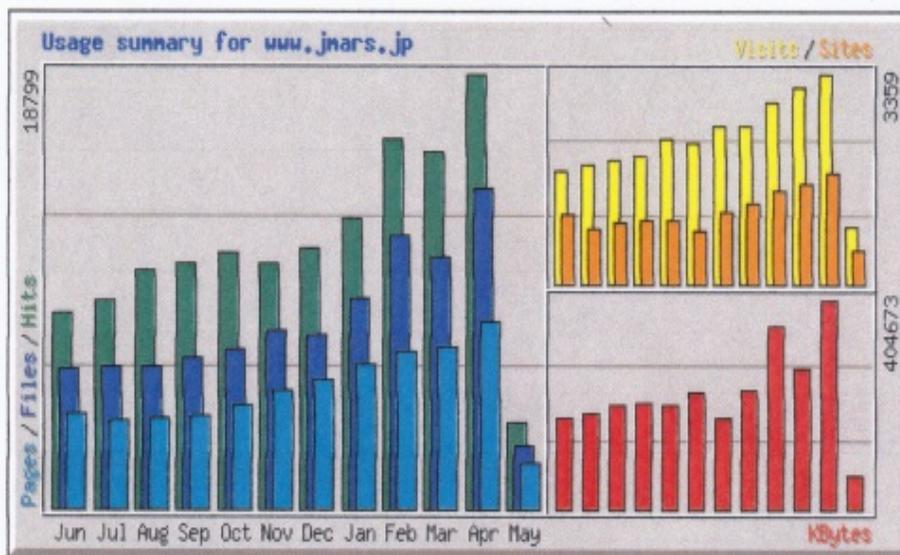


資料3

# Access report by Webalizer for www.jmars.jp

月の統計

作成日時 09-May-2019 00:53 JST



月の統計										
月	一日あたりの平均				月合計					
	Hits	Files	Pages	Visits	Sites	KBytes	Visits	Pages	Files	Hits
<a href="#">May 2019</a>	412	303	226	99	548	64411	893	2035	2734	3708
<a href="#">Apr 2019</a>	626	461	270	111	1753	404673	3359	8119	13832	18799
<a href="#">Mar 2019</a>	496	351	226	100	1599	270478	3129	7032	10907	15406
<a href="#">Feb 2019</a>	569	422	244	103	1505	351572	2906	6846	11840	15944
<a href="#">Jan 2019</a>	405	294	200	80	1271	231062	2504	6218	9142	12569
<a href="#">Dec 2018</a>	362	243	180	81	1144	177209	2514	5606	7549	11248
<a href="#">Nov 2018</a>	354	256	172	74	846	223386	2235	5183	7690	10624
<a href="#">Oct 2018</a>	357	221	143	74	1028	199325	2305	4458	6874	11077
<a href="#">Sep 2018</a>	354	218	133	68	995	205302	2053	4012	6562	10620
<a href="#">Aug 2018</a>	332	200	127	63	963	201680	1973	3947	6202	10319
<a href="#">Jul 2018</a>	291	199	125	60	866	183889	1886	3887	6194	9024
<a href="#">Jun 2018</a>	281	202	136	60	1118	176188	1809	4100	6070	8435
<b>総合計</b>						2689175	27566	61443	95596	137773

# 第30回日本医学会総会中部2019記念局運用への御支援感謝

## MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県盛岡市)

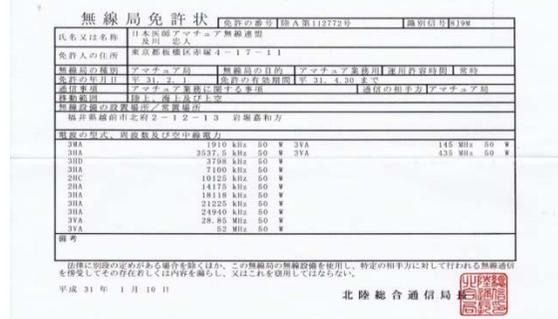
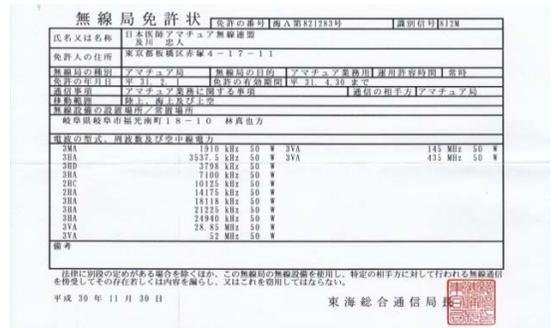
多くのMARS諸先輩の御支援。御協力によりまして、第30回日本医学会総会中部2019記念局運用は成功理に2月1日から4月30日まで最高の実績を残して終了致しましたことを心からの感謝を申し上げ、ご報告致します。

4年に一度の医学会総会に併せての記念局運用は2009年の大阪で開催された第28回医学会総会において、東条純一先生(JH3AEF局)が大阪城郊外の医学会会場の屋上に特設アンテナを張り巡らしての活動がエポックメイキングな運用のスタートであったと思います。相田先生(JA1KXT局)の電信での交信や多くの会員局の参加があり、懐かしい運用光景が今でも印象的であります。2011年は東日本大震災のために第29回日本医学会総会は中止になり、記念局の運用はありませんでした。

2015年の第29回日本医学会総会は京都で開催されて狭山信矩先生(JA3ASU局)のご尽力と東条純一先生(JH3AEF局)の実行力により京都国際会館屋上に特設アンテナを張り、8J3Mというコールサインを頂いてMARS運用記念局を総会と共に実施致しました。また京都駅近郊のホテルにてMARS総会を行い、岩手医大の真瀬先生の特別講演を伺い楽しい総会を過ごすことが出来ました。狭山信矩先生を始め3エリアのMARS会員の御支援御協力に感謝でありました。翌日のエクスカーションは琵琶湖北西部の桜並木が湖面に並木の風景が印象的であり、春の琵琶湖周航の旅になり感謝でした。

今回の第30回日本医学会総会における記

念局運用については当初予算の都合等で記念



局運用は困難であるとのことでありましたが、東条純一先生(JH3AEF局)岩堀嘉和先生(JE9RWF局)のご尽力によりまして、福井県医師会、長野県医師会、愛知県医師会の会長への協力要請を画面にて行いその了解を得ながら北陸、信州、中部信越の電波管理局への申請を行いました。今回は8J2M,8J9M,8J0Mの三つの記念局の免許を取得することが出来まし

た。これらの申請手続きにあたり、東條純一先生、岩堀嘉和先生には多大なご負担をとご尽力を頂きましたことをこの場をお借りして心から御礼を申し上げます。

このような経過を踏んで、2月から4月の記念局の運用をすることになったわけではありますが、それぞれの記念局の機能的分担の必要性があることから天谷先生(JI1VAH局)を中心として2月、3月、4月毎にグループ別の交信分担案が提出されて、それらを了解しつつ2019年2月からの運用が開始されました。

グループ分けの運用は中々理解しにくい面もありましたが、多局共同運用という形式を採用する原則を守りながら、2月のスタートになりました。7MHZ,3.5MHZのバンドの記念局運用の適正な周波数を検討することは時間帯の設定も併せて、気を使うことになりました。しかし幸い夕方から夜間にかけての3.5MHZ帯は比較的込み合いも少なく、交信後にバンドを使用させて頂くことを申し出ますと歓迎してくれる局長さんも多く、8J2,9,0,Mのコールサインを憶えている方も少なくなく、とても快適に記念局運用に参加することが出来たことは有難いことでした。

4年に1回ではありますが、このような機会を作って頂いた東條純一先生をはじめMARS各局のご尽力に心から感謝申し上げます。第30回日本医学会総会中部2019の記念局設営は林真也先生(JR2GPR局)にお世話になり、国際会議場の駐車場に特設アンテナを張る時間帯に少し手伝いが出来たことは有難いことでした。林真也先生は自家用車に移動アマチュア機器を全て完備されて、移動記念局の設営にあたり、強風下にもかかわらず、何とか記念局現地運用が可能となったことは、とても有難いこ

とでありました。素晴らしい御支援を頂きましたことは感激の至りでありました。またCQ誌にも林真也先生から東條純一先生や田中憲児先生等と一緒にとられた現場の写真も掲載されましたことも記念すべきこととなり、MARS記念局の活動が公になり有難いことであり重ねて感謝申し上げます。

今回の第30回日本医学会総会中部2019記念局運用はこれまでのMARS記念局運用の歴史を振り返りますと画期的な規模の拡大と素晴らしい運用になったことは、それぞれの部署を積極的に前向きに率先垂範された各MARA会員の総合力の賜物であると思います。小生は盛岡市にあり、あまり十分な役割を果たすことが出来ませんでした。これだけの記念局運用がなされたことは、やはりMARS会員の熱意・情熱とアマチュア無線への愛着を示すものであり、すべてのMARS会員の誇りであり、深い意義があるとの充実した達成感を持つことが出来たことは感謝でありまた喜びでありました。

今後も様々な通信技術の進歩により、アマチュア無線の通信形態・形式は激動する時代がありますが、アマチュア無線を通して培った交流・友情の喜びをさらに少しでも次世代に繋いで行く努力が必要な時代であるとも思います。そしてまた、尚頻発する局地災害等に少しでも役に立ち得るMARS活動に展開する努力を共々重ねることが求められているのではないのでしょうか。

「継続は力なり」とは有名な標語ではありますが「急がず、休まず Haste not, Rest not」という新渡戸稲造先生の示された言葉を大切にしながら、MARS活動のさらなる発展と充実を目指して進んで参りたいと思います。MARS各局の御支援に重ねて感謝申し上げます。記念局の活動の背景等の諸報告に替える次第であります。

## 第30回日本医学会総会記念局8JnM運用を終えて

### JI1VAH 天谷 龍夫(茨城県日立市)

2018年11月、来年2月からの第30回日本医学会総会記念局8JnMの運用をぼんやり考えていたところに、JE9RWF岩堀先生から電話がありました。「JH3AEF東條先生から、運用に関してJI1VAHが計画を立てるように指示があったのでよろしく」まさに青天の霹靂でした。4年前の8J3Mの時、ひとつの記念局、期間2ヶ月、オペレーター12名ですら、運用に多くの混乱があり、ブログなどでネガティブな書き込みをされ、いやな思いをした経験がありました。今回は、3つの記念局、オペレーター20名、期間は3ヶ月、どれをとっても大変なことになるという予想が立ちました。

20名が、ばらばらに自由気ままに3つの記念局にオンエアし始めたなら收拾がつかなくなると実感しました。その運用のルールを作れと言われても簡単ではありません。3つの記念局をどうコントロールして、能率よく、混乱を生ぜず運用するか、まじめに考えはじめました。8J3Mの経験から、1つの記念局を毎日CQを出し続けると、約1ヶ月で1000局に達し、CQでの応答が悪くなるのがわかっていました。期間が3ヶ月、記念局3つですので、オペレーターを3つにわけ、各記念局を1ヶ月ずつ運用し、ローテーションしていけば、ちょうど記念局を7人で1ヶ月運用したのと同じ能率や困難さで運用できるのではないかと考えました。多少の不自由はありますが、皆さんに納得してもらって、3ヶ月間楽しく運用できるようにしようと思いました。

それには、まず、各オペレーターが、どのようなスタイルで、どのバンド、どのモードにどのくら

いアクティブに運用してくるか把握する必要がありました。そこで、名乗りを上げたオペレーターにアンケートをお願いしました。希望運用周波数、希望運用モード、可能運用時間、予測運用局数など細かに記載してもらいました。その結果、各オペレーターの運用スタイルが把握できました。それをもとに、エリア、運用時間帯、希望周波数、モード、アクティビティなどが偏らないように、メンバー分けをしました。この作業は結構大変で、こっちをずらせばこっちがかぶり、アクティビティの高いグループと低いグループができてしまったりして時間がかかりました。各グループの申告予測交信局数も、ほぼ同数になるように調整しました。

A～C班と運用予定表です。

**A班** JL1LRJ JR2GPR JH3TCC  
JO3RUL JP7FSO JH0LME  
**B班** JA1KXT JR2FGQ JH3QMF  
JM3FUW JA7AOM JE9RWF  
JR0QWW  
**C班** JI1VAH JS2BBE JH3AEF  
JF3JON JF3MTM JA6BMB  
JR0NQU

#### 運用予定表

.....

(2月)

8J2M JR2GPR(統括)+A班  
8J9M JE9RWF(統括)+B班  
8J0M JR0NQU(統括)+C班

## (3月)

8J2M JR2GPR(統括)+C班  
 8J9M JE9RWF(統括)+A班  
 8J0M JR0NQU(統括)+B班

## (4月)

8J2M JR2GPR(統括)+B班  
 8J9M JE9RWF(統括)+C班  
 8J0M JR0NQU(統括)+A班

できるだけ、同じエリアから、同じ周波数、同じモードでの運用を避けるように分けました。ABC3つの班で1ヶ月ごとにローテーションしていきます。次に前回問題になった、同一時間のQRV問題です。今回も、同一記念局は、周波数、モードが違って同一時間にはQRVしないということを徹底しようということになりました。いまは、SNSやクラスターで、各局の運用状況がリアルタイムでわかってしまうので、細心の注意を払うようにし、メーリングリスト(ML)へのQRV告知、QRT告知確認を徹底するようにしました。

使用するリグに関しては、一般的には記念局の移動運用は、ひとつのリグを転送し使いまわすことが多いので、その感覚でクレームをつけてくる局も前回同様予想しました。われわれの運用は、登録した機種で許可された周波数、モード、出力で運用し、同一時間には1局のみを徹底して、根拠のないクレームを受けないよう注意しました。

記念局のアナウンスに関して、全世界に発信しようということで、再びJP7FSOをお願いして、QRZcom. に記念局を掲載しました。なか

なか魅力あるページになったようで、閲覧者もどんどん増えていきました。また、電子媒体ばかりではなく、CQ誌に掲載してもらったどうかと言う事で、当局が担当することになりました。CQ誌のメールアドレスを調べて、こんな記念局が運用されますという連絡をしたところ、CQ誌の「記念局運用 Information」ページの担当者から直接メールが来て、いろいろ質問され1月中に原稿を送り、運用期間中の3月20日発売のCQ誌4月号の掲載となりました。

いよいよ2月1日記念局運用開始です。00:00JST 当局の所属するC班では、JF3MTMが早速QRV開始しました。JF3MTM局のQRTを待って、3.5MHzCWにQRVし、00:26JA0EOKとの交信で記念局運用がスタートしました。

運用に関しては、多少の問題も生じましたが、MLが大ききな力になって、致命的なトラブルもなく、各局もアクティブにQRVしているようでした。それでもやはり、免許状のコピーは電波法違反だ、などと運用形式に関しクレームをつけるOMも居たようですが、同一局が同一時間にQRVしない限り電波法などには抵触しないことに自信を持って、さらに4年前の経験を生かし、しっかり対応することができました。

約2ヶ月が過ぎようとしたときに、記念局はJARLのQSL転送システムが機能していないことを交信した一般局から指摘されました。これには当局も驚きました。免許交付と同時にJARLに入会したものだと思っていましたので、運用各局も驚いたことでしょう。夜中にもかかわらず、当局から、新規入会ではなく、JM1ZZM局の別のコールとして、QSL転送手続きを電子申請し完了しました。今回知ったのですが、もし非会員であっても、送られたカードはすぐには

破棄されず、3ヶ月ほど保管するとの事でした。JARLのHPのQSL転送画面で、8JnMを確認すると、○印が付きまして安心しました。

今回は3つの記念局がそれぞれのエリアで同じMというサフィックスで運用するという、きわめてまれな運用でした。そこで、3つの記念局と交信した局に特別にアワード的なものを発行しようということになりました。JA1KXT相田先生というML上で相談したのですが、JH3AEF曰く、「アワードとしては馬鹿にするなどいわれるくらい簡単すぎ」ということでした。そこで、全記念局交信ステッカーを発行することになりました。名前も、伯をつけるためにダイヤモンドステッカーと名づけました。ステッカーにSSBとかCWとかの特記をつけたらどうかの議論もなされましたが、コストがかかりすぎる理由で、1種類のみになりました。大きさもいろいろ討論されましたが、申請をSASE (self addressed stamped envelope) によるとしたので、最低の大きさの封筒サイズに合わせて直径6cmとしました。デザインは、QSLと同じく、JA1KXTにお願いしました。僕自身、ダイヤモンドステッカーは、宝石のダイヤモンドを横から眺めた形で出来上がるのかと思っていましたら、ダイヤモンドを上から眺めたすばらしいステッカーが完成しました。いつもの事ながら、JA1KXT局専属のデザイナーの感性に感服しました。

また、MARS医学アワードⅡに関しても、前回の8J3Mは75ポイントのボーナスポイントつけましたが、今回は、1記念局25ポイントとし、3つで75ポイントのボーナスポイントとしました。QRZcom. 上でも、英語でMARS医学アワードのインフォメーションを掲載しましたので、早速海外からもアワードの問い合わせや申請が来ており、アワードマネージャーの当局としては、

現在ダイヤモンドステッカー発行とアワード発行業務に追われているところです。

月替わりで担当記念局が交代になりますので、新たな気持ちで1ヶ月間運用ができました。毎日のMLを見ていると皆さんが無線を楽しんでいる状況が感じ取れました。記念局運用が生活の一部になりつつあるようでしたが、やはり4月も後半になると終わってしまうという一抹の寂しさも感じ始めました。当局は記念局運用と同時進行で、5月11日の第43回日本医師アマチュア無線連盟長野総会の準備も進めていきましたので、あっという間に4月は過ぎていきました。最終日4月30日、ラストは今回の運用を象徴するように、サテライトに出ました。CAS4Bがいいコースで飛んできます。22:46JST、最後の8J9M/1をJH8FIHと交信し、衛星からの信号が北の地平線に消えるようなフェードアウトとともに3ヶ月の記念局運用を終了しました。



ダイヤモンドステッカー

## 8JnMの運用実績(全交信数 12,390局)

	8J2M	8J9M	8J0M	計	JM1ZZM	(8J2M/2)
JA1KXT	265	1	69	335		
JF3JON	178	177	201	556		
JR2GPR	32	0	0	32		
JO3RUL	277	381	500	1158	302	
JR0NQU	104	47	493	644	46	
JH0LME	193	283	142	618		
JA6BMB	1	1	21	23		
JE9RWF	409	752	359	1520		
JL1LRJ	21	18	18	57		
JH3AEF	669	999	75	1743		
JM3FUW	90	0	0	90		
JH3TCC	244	310	265	819		
J11VAH	704	1025	847	2576		
JR0QWW	9	50	0	59		
JR2FGQ	30	109	51	190		
JF3MTM	150	82	198	430		
JA7AOM	62	18	31	111		
JP7FSO	329	295	695	1319		
JS2BBE	34	33	13	80		
JH3QMF	16	3	11	30		
計	3817	4584	3989	12390	348	177

交信数は、運用終了後MLに申告のあった交信実績数で5月の長野総会で報告した実数です。

順番は申告日付順、8J2M/2は日本医学会総会会場局で個人運用局数に含まれています。

## J11VAHの運用実績

当局は、ハイバンドのコンディションが良くないので、早朝、夜間は3.5MHz、昼間は7MHzが中心となり、あとはサテライト運用と、FMのローカルサービスでした。病院2階のかつて3人部屋の病室だったところを研究室に内装改造して(なぜか職員は無線部屋と呼んでいる)診療時間以外はここで過ごしました。



JI1VAH 交信局数		MODE	BAND	QSO
2月		CW	3.5	509
8J0M/1			7	226
			10	18
			430	4
			サテライト	69
		FM	144	11
			430	10
		2月	合計	847
3月				
8J2M/1		CW	3.5	338
			7	268
			430	5
			サテライト	84
		FM	430	9
		3月	合計	704
4月				
8J9M/1		CW	3.5	487
			7	464
			430	2
			サテライト	48
		FM	144	10
		SSB	3.5	14
		4月	合計	1025
	JI1VAH交信数		CW	2522
			FM	40
			SSB	14
		TOTAL		2576局
	そのうち			
	サテライト局		201	
	呼んできたDX局		48	

今回、サテライト運用するのは当局だけのようです。一回の飛翔時間は、約10分ほどです。現在追尾可能なサテライトは、9個ほどあり(EO-88、CAS4A~4B、FO-29、WX2A~2F)、CW運用はどれも可能

です。一回の飛翔時間は、約10分ほどです。一度に多くの局にサービスすることはできません。当局のサテライトシステムは、ほとんどがローカルOMからのもらいもの組

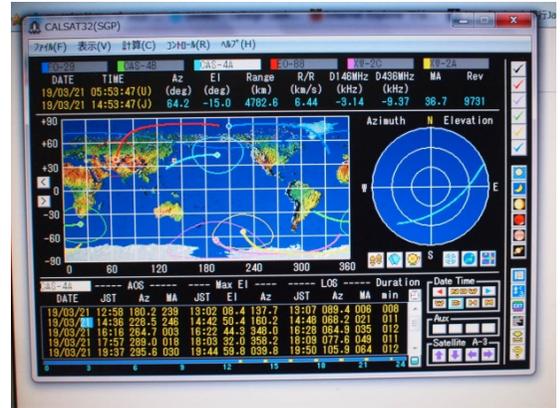
み合わせで衛星追尾もローテーターが古いのでスピーデイには行えず、ドップラー補正も手動で非常に能率が悪いのです。



古いアンテナ製の430MHzの5エレを144MHzの5エレにクロスマウントし、ケースにひびの入ったケンプロの仰角ローテーター、不必要に大型でのろのろと回るエモテーターを、これももらいものの屋根馬に乗せて使っています。簡単な設備ですが、良好なパスがあれば、できるだけサテライトにアンテナを向けました。

軌道計算ソフトはCALSAT32を使用しました。1つの画面で6つの衛星の位置情報がわかり、衛星の出の時間、方位、コース、仰角などが一目でわかります。衛星は秒速7kmほどで飛んでいますので、現れるとあっという間に去っていきます。この間に、パドル操作、ログの打ち込み、ドップラー補正、方位追尾、仰角追尾を同時に行います。いまは、パソコンによる自動追尾、ドップラー補正もできるよ

うですが、当局のシステムはすべて手動で同時にたくさんの操作を行いますので、脳の活性化にもつながり老化防止に多少役立っているかもしれません。



結果は、EO-88、CAS4A、CAS4Bが中心で、計201局でした。

開局までいろいろありましたが、すべてを超越した充実した時間がすごせました。準備に奔走された各局、運用された各局、コールいただいた各局に心より感謝いたします。MARSの記念局運用がSNS上で炎上したりしないように細心の注意を払ったつもりです。ルールづくりや運用に当たり、OM各局にご無理、ご無礼があったと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。そして記念局運用を通して、各局が時間を忘れて無線を楽しみ、世界中の局と交信することができました。改めてアマチュア無線の面白さ、記念局運用の楽しさを実感した3ヶ月でした。

	EO-88	CAS-4A	CAS-4B	FO-29	WX-2A	WX-2B	WX-2C	WX-2F	計
8J2M/1	26	17	22	4					69
8J9M/1	11	23	44			3		3	84
8J0M/1	13	18	11		5		1		48
計	50	58	77	4	5	3	1	3	201

## 8 J nM・QSLカードなど編

### JA1KXT 相田 信男 (群馬県渋川市)

《はじめに—QSLカードの準備・結末》

どうしてそうなったか、はっきりしないけれども—そういうところが趣味の集まり故に良いなど私は感じているのだけれども—、記念局開局、運営という話が出ると、なんとなくQSLカードは私が準備することに、極めて不確かだけれども、しばらく前からそうになってきた。そこで今回も、誰から頼まれてもいないのに、気づいたらしゃしゃり出ていたという次第である。少しふり返ると、そもそも名古屋での第24回医学会総会時のJM1ZZM/2運用のときはJR2IZOさんがカードの注文をなさったのではないのだろうかと思像する。ともかく27回総会辺りから私が準備するようになってきた。

記録を見てみると、今回は昨2018年12月10日付けで、8J3GAJMC以来の相棒、現在では4人の子持ちで忙しくお母さんをしている昔の同僚にメールをした。曰く「日本医学会総会のウェブを開いてくれ。画面左の日本地図様の図柄を背景にして、下部にある大会テーマを取り入れ、“会頭”とある位置に“第30回日本医学会爽快2019 中部・記念局、を名乗ったデザインでカードを作る”とあった。「あなたのことだ、いろいろと忙しい最中だろうけれども是非ともお願いしたいのですが。」と締めて、ほとんど押しつけ、およそ「お願い」とは思えない、私のアイデアに従って私が出来ないPC操作をして、印刷屋に回すQSLカード原稿を作ってくれというメールだった。ついで1月14日付けで二種類のレポート面の原稿を作っていた。そうやって準備を始めたのだなとふり返る。

今から思うと「サービスよく」コールサイン面についてのアンケートを取ったり、印刷面の注文を受け付けたりしたのは、余計と言えば余計な仕事だったとも思う。今後どなたかにお問い合わせするとしたら、QSLカード係を会員の総意で決めて、後は係一任とでもした方が効率が良いとふり返っている。因みに、結構手間取ったのは各局へのカードの配送作業だった。これはどこかに依頼というわけには多分出来ないだろう。アマチュア的に手作業しかない。

費用は：—カード印刷総額 158,878 円(総数 15,750 枚)、後述 DS2,000 枚の印刷製造費 14,830 円、デザイン他・製作費 30,000 円、郵送料 37,210 円。合計 234,348 円 だった。

《MLでの連絡・CW運用》

私の場合、80mMD ネットでの(当番の)記念局運用—あのプログラムはヒットだった、うちうちでだったとは言え楽しい朝だった—以外はすべて CW 運用だった。一番の理由はフォーンで丁寧に話すのがめんどくさいという(良くない)性格故だったが、やればやるほど面白くて、一種の「中毒」状態の恍惚を追い求め、楽しんだというのが大きなもうひとつの理由だ(と終わってから思う)。夜間に限った 80m と 160m、加えて例外的な6mへの QRV だったが、出たいときに出たのに、コンディションが悪くて空振りなんてことは全くなかった。一度だけ 30m で気まぐれに CQ 出してダメだったことがある。「気まぐれ」なんかじゃダメということだったろう。運用中に当局が「QRZ? 一部コールサイン」と打って、指定無視の局が皆無ではなかったが

ほぼ従ってくれた。複数のバンドで呼んでくれた局も結構ある。

それにしても、ML を使って「これからどこここに出ます / 終わりました、止めます」とアナウンスするという基本運用ルール の 制定、また運用者をグループ分けしての実施プランは、見事な企画だったし、実際ほぼ支障なく運営されたと感じた。今回のような3局同時免許などという、ご尽力いただいたOM諸氏のお陰だけでも、見事な記念局複数運用が今後も出来るような条件に巡り合うことはそうそうないとは思いますが、もし行われるようなら、この度の経験が大いに役立つことと思う。

#### 《印象に残った QSO》

なんと言っても MARS の 会員局から呼ばれたときの嬉しさというか、「分かっているはず」なのに気持ちが騒いだ。お呼びいただいた OM 諸氏に感謝したい。

私は DX からは呼ばれなかった。ただし、「JR6 二文字」局から呼ばれて、これはかつての沖縄・琉球の局だと(何しろ KR6,8xx が居た時から聴いているラジオ少年だ)、気持ちはすっかり懐かしい DX QSO だった。

JA1 の 某局は、本職は 50KW の放送局(の技術部門)で、Ham は都下某所の団地からモズレーの車載用ホイップで DX をやっているという OM だが、本当にお久しぶりに呼んでいただいた。思わず「psed cu in longtime, 599」と送ったのだけれども肝心の op name を知らせ損なった Hi。多分、戸惑われたことだろうと、直後に少々恥じた。

#### 《おわりに——ステッカーのこと》

J11VAH という AWD-Mgr. が同時にアクティブな運用局であったという、MARS にとっての幸運がうまい具合に働いたと思う。8JnM の 3

つの異なる局のセットを、バンド、モード異なる QSO 毎にカウントして「Diamond sticker を発行する」という MARS-AWD 特別賞が、ボーナスポイント制に加えて急遽設けられたが、これはなかなかの評判だったのではないだろうか。

この DS のデザインを ML で発表した時のことだ、JH3AEF から「ブータンの、DX'er が泊まるホテルの扉に、歴代運用局の記念ステッカーが貼られている。この DS のステッカーをあの扉に貼りたい」という趣旨のご感想をいただいた。多分、褒められたのだと(勘違いじゃないよね) VAH と共に(だったと思う)すっかりいい気分になって、しかも前述の CW 運用後の恍惚感の冷めやらぬ中だ、調子に乗って「記念局運用記念」なるステッカーを制作した。そして運用された OM 諸氏にお配りした。サプライズを狙った、8JnM イベント最後のイタズラだった。このイタズラは自前につき Ham らしく安価に仕上げるべく、冒頭に書いた「忙しいお母さん」が娘さんたちの協力を得て 100 均で買った特殊な道具を使い円く切り抜いてくれた、と謂う。(JF3JON に編集のお手間をかけて QSL【⇒表紙】と最後のイタズラステッカーの写真を掲載していただく。TKS JON)



## 雨 後 嵐 後 日本晴 第 32 回日本医学会総会中部記念局

## JH3AEF 東條純一 (東大阪市)

時計の針がこれ程恨めしく思えたのは私だけじゃなかったろう。

とにかく、各局これ程までに集中してrigに向かったことは、長いハム人生でも数少なかったのではなからうか。

私の場合、確かあの時、もう10年にもなろうか、K5Dの時、DXCCで最後に残った Desecheo isl. の時、JH3AEF QSL 59 をもらった時も、今風に言えば「今まで経験したことのない」脱力感が全身を走った。でもあの時は、その瞬間が local 局はじめ、big gun 注視の中での快挙、QSL もそこそこに祝福の怒声の中で“やったぜ”とふんぞり返っていたようにも記憶する。

しかし、今日4月30日の時計の針が次の日に動こうとする瞬間は、ふんぞり返るわけでもない、かといって脱力感でもない。実に物悲しい気持ちで呆然とrigの前に座りつくしていた。

僕のハム人生の中の大きな流れ星の一つだったのかなあ、この記念局の運用に参画できたという事は。

日本医学会総会アマチュア無線記念局。Dr. ham であれば誰も一度は幻のように思い描いたイベントの一つであるに違いない。8J のプリフィックスがつき、医学を示すサフィックスのついた call sign そんな夢のような話がかなえられるのなら、、、、

かって、「大阪で開催される医学会総会なのだから、何としてもこの機会を逃すことはできない」と、可能な限りの情報網を張り巡らして糸口を掴もうと息を凝らしていた。第一報がもたらされたのは大阪府医師会中枢におられた#1 honor

roller の JA3LDH 高井 om からであった。social event へ ham の参画は初めてのことであったが、第一回の連絡協議会から招集をいただき、いとも心地よく受け入れられ、平等な分配金の支給までいただいた。事務局の対応は非常に協力的で、Royal hotel の高層階の一室を運用の為に提供しようと言われていた。しかし、ANT firm のこと、open 参加者の出入りのことまで考えたうえ、示説展示場の大阪城ホールの前庭とそれに面するオープンスペースの一部を提案、難なく許可いただき、top band の I.V.ant. はもとより、いくつもの beam Ant も設置出来た。MARS 会員駐在時は一般の ope が自由に運用を楽しみ gest ope の運用数が数千にも達した。

一方、局の申請、call sign の取得のため、3の総通局には何度も足を運んだ。希望を率直に、最大限に聞いていただくためだ。まず、医総会は日本最大の医学会総会であり、何としても8Jのプリフィックスがふさわしいこと。そして、サフィックスは医総会にちなんだものにしたいこと。一寸欲張ったお願いかも知れないが、かってJA3AAが座っていた3の総通局であることから、私自身、他のお役所のような疎外感はなかった。ただ、強くアドバイスいただいたのは、「その要望をどうしたいなら、医総会トップ(会頭)に学会の簡単な説明と、その開催を記念する記念局を開局するという趣旨の推薦状を書いていただき、署名、公印をもらってきなさいよ」ということであった。医総会事務局は当初より非常に協力的、友好的でもあったため、推薦状、署名、

公印の押印などいとも簡単に済ますことができ、何等苦勞することなく希望どおりの call sign をいただいた。運用期間も希望どおり 3 カ月いただいた。

その callsign が 8J3GAJMC であった。満願かなって得意顔での on air となった。当初、もの珍しく注目を集めたのは確かであったが、運用してみてこの call sign は通信には全く不向きであることも痛感した。

世の中、名だたる pedi は K5D のように単純明快を追求する傾向が強くみられるようになってきていたのだ。

そこで次回、京都医総会では担当の JA3ASU 狭山 om に 8J3M で強力に進めていただくようお願いし希望はかなえられた。この時も狭山 om のお力も頂いて、京都国際会議場の大舞台をくまなく観察、機械室の間をすり抜けて、屋上に登り、top band の I.V.ant を悠々と張り、屋上階に shack を設置することも許可された。事務局からは最上階の一室を shack として利用するようにとの親切な提案もいただいたが、我々としては ant. の引き込みにも都合の良い屋上階の片隅に shack をかまえさせていただいたのだ。

大阪医総会、京都医総会いずれの事務局も、少し毛色の変った ham の SE 参加に大きな興味を示すとともに、積極的な協力姿勢で臨んで下さり、MARS として非常に有難く感謝の気持ちでいっぱいであった。

さて、その京都医総会からまた 3 年が過ぎ、2018 年年明け、第 32 回日本医学会総会中部の概要が発表された。名古屋ではなく最後に中部がついていた。こいつは面白いぞ!!! 勿論中部がついていりゃハムにとっては 2, 9, 0 だ!!! AEF は内心大きなバルーンを抱

いたような心地になり、浮き上がらんばかりであった。

大阪総会の折には幾度もの交歓事業連絡会の招集を受け、各事業の活動計画、予算案の提出も求められ、お互いの交歓事業の内容を各交歓事業団体が理解しあう場も設けられた。たしか 12 の交歓事業が名乗りを上げ、充てられた予算は総額 1000 万円余と聞き及んだ。

そして予算は各事業の規模、内容、参加者数を勘案し公平に分配され、MARS には 60 万円が配分された。当然この浄財は記念局の装備にも充当されたが、当時慣例となっていた医総会年は、MARS 総会を医総会記念事業に併設して開催すると決められていたため、医総会記念局事業に平行し、MARS 総会記念講演会「阪神淡路大震災とアマチュア無線」演者故 JA3AA 島伊佐治 om, 「阪神大震災における初動体制」演者 神戸市医師会 本庄 昭先生による などに有難く充当された。

さてさて、今医総会では、4 月になっても SE 連絡協議会開催の連絡もないため、大阪総会の資料、運用実績、会計報告書も添付し 4 月初旬に理事の JI1VAH 天谷 om から参加の申し出をしていただいた。

直後開催された日立 MARS 総会でも 8J2M が楽しみですねというような話は酒の肴として話題に上っていた。

しかし、驚きをもって聞いた報告は、過日開かれた医総会 SE 世話人会において MARS の記念局事業の申し込みは却下されたということであった。理由についての質問にも全く答えはなく、ましてや世話人会の開催予告も全く無いままの闇の中での決定であったと聞く。経験からして大金が計上される公的な医総会 SE 事業が、過去、引き続き参加してきた団体に何の通

知もなく、闇の中で一方的に裁断され無視されてしまう状態は、たとえ医総会事業のごく辺縁部を担う事業であるにせよ、医総会内部一部関係者による事業の私物化であり、予算など金銭がかかわる部分があったとすれば、公金横領とみられても仕方がない恥ずべき状況ではなからうか。

ご承知のとおり、MARS 理事会におかれては十分に検討された結果としての通知文ではあったろうが、6月3日付け、JA7AOM 及川会長より今医学会総会記念局断念の決断を下したとの書状をいただいた。

MD NET 上でも、ML 上でも MARS 内は静かそのものであった。

誰も何も言わんのかい???

8JnM への期待はどうなったんや???

医学会総会の期間は総会に出席してお勉強???

アホか??? くそつたれ!!!

なんで、やったろやないかい!!! と 思わへんねん???

いや、下品で真に申し訳ないが、少なくとも私はそう感じた。

MARS の皆さんは紳士なんだ、医総会が始まっても、医総会が終わっても 8JnM なんてのは夢のまた夢、、春の小川のようにサラサラ流れ去っていくかいな!!!

記念局の開局は総務省管轄の事業、医総会事務局がそっぽを向いていても、開局の可能性は充分ある。MARS の役員一同右向け右なら俺一人左むいて走ったろやないか。失敗したらアホの AEF や!!

とにかく AEF は 8J2,9,0M に向け一人で正面突破、突撃を開始した。

「14/06/2018 ML から

皆さま

梅雨のさなかの晴れの日、8JnM もそのような結果になりたいものです。いや、なるように努力いたしましょう。いやいや努力しています。医総会本部が辞退進言、そんな馬鹿な、、、8JnM の歴史がゆるしません。はい、判りました。で引き下がってブチブチ言っても事は始まりません。

ハムの記念局は医総会ごときに左右されるものではないことを皆さん良くご存知のはずです。

手法はいくらでもあるはず。あります。

とりあえずは記念局が認可されてから使用 rig あれこれでは遅すぎます。移動局用の各自の現行の法規に適合する rig を用意しておきましょう。昨年届け出たものも、以後スプリ規制にかかったりしないか再度検討を宜しくお願ひします。新しい mode の追加もお忘れなく。迅速な行動が必要です。

医総会中部ですから 9,0,も必ず実現にこぎつけましょう。2は既に

常置場所は決定いたしました。記念局開設も OK かも、、、

9もほぼ OK でしょう。

辞退勧告でしょんぼりなど MARS らしくありません。QRO! QRO!

執行部の OM 連は紳士ですから、、、

ご批判あれば直ちに行動を中止して JH3AEF 局の運用に専念いたします。

どしどしご意見お聞かせください。ML が寂しいと泣いています。

「JH3AEF 東條純一」

しかし、医総会事務局に出向くにも、東海総合通信局に出向くにも、2 エリアに常置場所を設定するにも、やはり2、それも名古屋市に極近いところに生活圏のある MARS 会員の応援は

必須である。

丁度一昨年、JH4UYB 岡野 Dr から2に active な Dr がおられると紹介をうけ、MARS に入会いただいた JR2GPR 林真也 Dr のことが頭に浮かび直ちに連絡をいれた。困難な状況を説明し、医総会事務局の決定を覆すべくご協力いただくことに快諾を得た。これを機に林 Dr には筆舌に尽くし難い医総会事務局との苦難の折衝に、幾度となくお当たりいただいた。先生のご尽力なしに、今回の記念局実現はあり得なかったと信ずるとともに、大切な本業にご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げたい。

また、JH4UYB 岡野 om からの一報が無ければ、今回の記念局の実現は恐らく困難だったのでは、時々MD 情報をいただくのも om の activity のなせる所以であろう、真に有難うと申し上げたい。

6 月に入り早速、林 Dr に医総会事務局長と接触、SE への復活交渉を試みていただいたが、結果は変わらず、現状では事務局にとりつくしまもないことが判明した。

事務局を相手にしていても何も始まらない。それならと、医総会 SE 運営委員会の構成をみた。そこで、委員長に愛知県医師会会長が、運営委員に同理事が参画しておられることを見つけた。となると大阪府医師会からのアプローチがあるのでは？ 再度、大阪府医師会副会長 JA3LDH 高井 Dr から、今回は愛知県医師会会長に実情を吐露、とにかく MARS の復活に注力いただくことをお願いした。MARS としても記念局事業が SE として公認されること一点に希望を絞り、交付金の要求、会議場内でのブースの確保の希望は最初から取り下げた。結果は申すまでもなく一変、記念局事業も晴れて

SE の一角に参画することとあいなった。更には、愛知県医師会会長の記念局開局に向けての総通局長あての推薦文、更には医総会会頭による記念局開局に対する推薦文も頂けることとなった。

全てが公式に決定されたのは7月15日に開催された SE 連絡協議会においてであった。なーんだ、連絡協議会やってるんじゃないの。内密に？ フェアーじゃないね、、、

まーいいか、結果オーライ、万歳 万歳 !!!

日頃、医師会事業にあまり熱心でない私であるが、この時ばかりは大阪府医師会様様であった。

同様に9,0の記念局開局に対する会頭の推薦文も頂けることが確約された結果、直ちに JE9RWF 岩堀 Dr、更には JR0NQU 山本 Dr. と常置場所の設定、可能なら福井、石川、長野など9,0の県医師会会長に推薦文をいただくための検討を始めた。県医師会会長に対する折衝は JE9RWF 岩堀 Dr.のご尽力によるところ実に多大、しかし、その実現には困難を極め、あまりの手続きの煩雑さに短気な私は「会頭の推薦状だけでも可能なのではと」必死に取り組む岩堀 Dr.のご機嫌を損ねる場面もあった。

内心、福井在住の氏が遠く金沢、長野県に日参され、各県医師会担当者と折衝、最終的に会長に面談、事情説明に当たっていただくご苦勞と、推薦状をいただくこととの費用対効果が頭をよぎったこともまんざら偽りではなかった。しかし、氏のご努力の結果、医総会会頭以外に9,0各県医師会長の推薦状をも添付、申請できる環境が整い、いよいよ 8J2,9,0M 開局の可能性が飛躍的に前進した。

勿論、記念局開局の為には三総通局へ提出

する書類の作成、総通局での対面、申請書類審査など複雑な仕事は残るが、記念局が SE に公式登録されたという事が何よりも総通局へのアピールにもなり、三局分の開局申請書作りなんぞはとても楽しい作業に思えたし、従来の経験から総通局でお役人に対面することすらも、さほど苦勞なこととは感じられなかった。

さて、記念局開局に向けての現状を逐一 ML に報告してきた結果、AEF の妄想がひょっとしたら実現するかもしれないと、MARS 内での皆様の期待が感じられ始めたのもこの頃 8 月後半であった。

MARS 内部のみで情報を完全に共有でき、お互いの情報交換もできる ML は以後の事務手続き、運用が始まった段階からは重複運用を回避するための tool としても必須である。記念局に興味のある会員はもとより、出来れば MARS 全員の連絡手段として MARS ML 連絡網を確立するよう担当の JH3TCC 家田 om にお願ひし、徐々に整備が進められていった。また 8J2,9,0M を開局した場合の QSL card をどのように作成するか、前 2 回の記念局の際お世話になった JA1KXT 相田 om にお願ひし、検討を始めていただくことになった。記念 QSL card には医総会のシンボルマークを前回同様印刷することも事務局にはかり、事務局から公式に許可された。更に、前回の記念 QSL card には、英語を用いた医総会の説明があったことに対する一般からの批判があったことも十分に考慮し今回の計画に生かすことにした。

MARS AWD については記念局特別 AWD の発行につき、AWD 担当の JI1VAH 天谷 om に検討を始めていただくことになった。

2,9,0 三つの記念局の開局が現実のものとして見え始め、MARS 内部での各担当による活動

が動き始めたころ、今回の記念局の運用目標を 10000 局越えと大きく定め、運用期間は新天皇のご即位に伴う行事など、何かと忙しくなる 5 月を避け、2,3,4 の 3 か月間にすることを決定した。二月に開催される関連分科会が予定されていることもあり、期間が三カ月に及ぶことについて総通局から特段の苦言もなかった。

9 月 19 日 待望の医総会会頭及び、愛知県医師会会長の推薦状の実物を手にすることができた。

これを機に各局が使用する rig の技適番号の確認作業を ML を使用して始めた。結果はいとも迅速簡単で、数日のうちに開局申請に必要な資料を集めることができた。定款に付随する MARS 役員の従免番号も瞬時に確認を終え、ML の重宝さを身をもって体感した。

その間、10 月 11 日、JI1VAH 天谷 Dr がご準備いただいていた第 43 回 MARS 総会が、記念局事業終了後の 2019 年 5 月 11~12 日、長野県上田市で開催されると発表された。

同じ頃、記念局会場局の運用についての意見がどこからともなく出始めた。私も願うところと意気を感じ、早速、林 Dr を通じ、医総会事務局に打診していただいた。案の定、返された答えは「あなた方は予算もいらない、ブースも要らないということではなかったのでは？」

「ウワー そこまで言うか！」

「そんなら青天井でやりまっさ！」「どない??？」

「あんたら field day も mobile 運用も知らんやろう。」とは言わなかったが本当にどないもしようのない連中やなあ！！

とにかくこのやり取り以降、会場局を国際会議場場外で開局することに決定した。

10 月 15 日 2 に提出する開局申請書類の作

成にかかる。途中、幾度か3在住識者を交えての検討を重ねたのち、11月14日東海総通局に翌日、医学会総会記念局の開局申請に伺う事を予約する。

当日指定の時間に東海総合通信局を訪れる。対応に出た職員は若くもなく、年寄りでもなくしっかりはしているが明るい性格の人物に感じられた。おおきな file を三つ用意しており、そのうちの一つをパラパラめくりながら、「医総会とは大きな学会ですね」

ちゃんと調べとるんや、うっかりしたことは言えんぞ。一寸緊張した。引き続き、別 file を捲りながら、「8000局ですか、頑張りましたね」「うわー、この人 ham の license 持ってんのとちやうか？」

ようやく申請書を手に取り今度は目を皿のようにしてめくりだした。

「あー、それは今学会会頭からいただいた記念局開局に対する推薦状です。」いかにも仰々しく進言した。「移動局ですので2在住の局から常置場所としての承諾も次にいただいております。」

「会の役員名簿、定款をその次に入れさせていただきます。」

ペラペラめくって、感心したように

「北海道にも会員さんがおられるのですか。」

いや、誰もでて来ませんとは言わず、

「はー。毎週ロールコールをやっておりまして、東北や九州からも毎週声がかかります」

そのくらいの腹芸ならできるんです。不器用な AEF ですが。

もう一つの file を捲ったときにチラッと見えたのは、大阪総会の時、報告書に添付して提出した写真や！！！！「そんなもんならであるのですか？」こちらの質問には何ら答えず、「大阪から

一人でこられたのですか？」「名古屋にも会員さんおいででしょ？」「はあ、、、、」

きょんとしている私にはいっこう構わず、「ご苦労様でした、免許は2週間以内に届けますから」

先ず申請上の手続きに不安は感じていなかったが、いかにもすんなり GO サインの出たことに安堵、安堵。かかわって下さった皆様に感謝、感謝。最敬礼をして総通局を後にした。

引き続き記念局の開局場所の選定をするため、会場となる国際会議場、そしてその外苑、更にサブの会場となるポートメッセの観察にまわった。ポートメッセは港湾部にあり市街中心部から時間もかかり不適との印象を受けた。一方、名古屋国際会議場は交通の便も良く、大きな外苑を有しており、field 運用を考えれば十分な立地条件であることが分かった。

名古屋での大仕事を終え帰途につく頃、太陽はまだ西の山の端高くから眩しい光を放っていた。

また、会場記念局開局については、JR2GPR 林先生から先生がお勤めの藤田医科大学に自由になる開局スペースが提供可能とのご提言があったが、国際会議場から多少距離があり会議場周辺を優先させていただくことにした。

東海総通局での一部始終は早速 ML で報告、明日にでも 8J2M の callsign で波を出したい気持ちであった。

引き続き北陸、信越総通局への申請を JE9RWF 岩堀 Dr と二人で提出すべく、期日を11月29日と定めた。

その直前、11月26日に東海総通局から電話があり、一瞬ドキリしたが内容は「申請の内容全て認可、期間2月1日～4月30日、申請された rig 16 台全て OK、本日局免を発送しま

す」との内容であった。医総会事務局の対応にうんざりしていた私にとって、東海総通局のこの対応には頭の下がる有難いものであった。

8J2M の認可に伴い、2,9,0 が開局した場合の運用法が ML 上で検討され始めた。

この頃から、SE ホームページへの会場局運用についての UP について検討を始めたが、その内容についても事務局規定の形式を強いられ、MARS の考える自由な画面をつくることはできなかった。

ただ、QSL card については事務局側が興味を示し UP されることになった。

QSL card についての検討も進み、2,9,0 の callsign を一枚の card に印刷すること、記載面は記入事項の場所だけを空白にした既成の card と、HAMLOG 使用、各自が自由に印刷面を print out 出来るものの二種類が用意された。更に、印刷の為の HAMLOG に対応する印刷 soft まで配布するというきめの細かい配慮がなされた。その上、少し先の話になるが、刻々変わる必要枚数の応需など、JA1KXT 相田 om の心温まる配慮には頭が下がる思いであった。

11 月 29 日には午前中金沢にある北陸総通局、午後には長野にある信越総通局に岩堀 Dr ご苦心の県医師会長の推薦書を携えて、岩堀、

東條二人での申請行となった。細部については岩堀 Dr のご執筆があらうかと思われるので、割愛することにする。

9,0 総通局で申請が受理されたことにより 3 記念局の運用の仕方についての意見交換が ML 上で活発になり始めた。

8J0M の局免が届いたのは 12 月 22 日、8J9M の局免が届いたのは 1 月 11 日であった。

記念局実務面については、係わった各 om から、多様の貴重なご意見がもたらせられることであらう。

医総会記念局の開局運用は MARS 自身の自己研鑽、新会員発掘、対外発信などのための絶好の機会である。出来れば反省会、紙上討論、単独の会計報告などが行われ、十分に検討がかさねられ、次回、8J1M の実現におおいに活用されることを望まずにはいられない。

また医総会 SE の在り方についても、MARS から一石を投じる馬力があっても良いのではなからうか。

いやー それにしてもこの 3 か月間は実に充実した 3 か月間であります。実に楽しい 3 か月間であります。

皆さま、本当にありがとうございました。またやりましょう。

## 医学総会 2019 中部記念局開設と公開運用

JR2GPR 林 真也(岐阜市)

記念局開設と公開運用に向けて

2018 年 6 月に東條先生 (JH3AEF) からの 1 通のメールから始まりでした。

2019 年の医学総会中部にあわせ記念局開設と学会でソーシャルイベントとしアマチュア無線を公認で行いたいとのことでした。アマチュア無

線がまだ公認のイベントとして認められていないとのことで事務局との折衝が始まりました。今回の学会事務局長がかなりアマチュア無線にネガティブでしたが、東條先生の医師会長の推薦状のお願いなど働きもあり、学会公認イベントの許可と記念局開設の学会長の通信局長あての推薦状もいただき記念局免許状が発給されました。8J2M, 8J9M, 8J0M の運用開始は2019年2月から4月の学会終了までとなりました。

また当初は記念局開設が目標でしたが、前回のように公開運用もあり運用希望も強くあり、事務局交渉。東條先生が実際会場見学、私も事務局の許可のでる場所で最適な場所とし見学し会場第4駐車場南の場所での運用となりました。ただ屋外であり雨がとても心配でした。雨のことも考え、当方の小さなキャンピングカー利用で行うこととなりました。さて記念局開設、公開運用まで東條先生のお力なくては、ここまでではできませんでした。MARS 会員として本当にありがとうございました。あとは公開運用当日、雨が降らないことを祈るばかりでした。

## 公開運用

### 4月27日

公開運用にあたりアンテナ設営などもあり天気だけは、晴れていただきたいと祈り、当日朝5時起床。やや寒く曇りで風が強い朝でした。しかし天気予報では雨の心配はないとのことで、安心して自宅を6時半に出発。7時半到着し設営開始しました。

風が強くとポールを立てるのに一苦労。特に7MHz のフルサイズ ツェップ型アンテナ約20m を張るのに一苦労、そこに及川先生 (JA7AOM) から突然のお電話、会場から駆け

付けていただき一緒にアンテナ張り手伝っていただきました。本当にありがとうございました。アンテナ調整し SWR も 1.5 以下でばっちりとなりました。その後、加藤先生 (JS2BBE) も設営参加いただき 10MHz のツェップ型アンテナ、430MHz, 144MHz, 50MHz の GP もあがり、電源や机、旗などたて設営完了。(21MHz, 18MHz, 14MHz の DP も準備しましたが、昨今のハイバンドのバッドコンディションから、今回は断念) 午前中運用開始予定でしたが、昼食後 14 時からなんとか公開運用が開始できました。公開運用最初のゲストオペレーター JR5MCZ 局が7MHz で運用いただき山口県の局から 59 をいただき電波が飛んでいえること確認し安心しました。コンディションはあまりよくなかったですが、その後 JP3UDZ 局、JA5IUI 局、JF2FMU 局に7MHz SSB 中心で運用いただき 20 局程度 QSO できました。その後 16 時すぎから JS2BBE 局が運用、7MHz のコンディションが良くなりパイルアップになりましたが、風がかなり強くなり、気温が急激に低下、とても寒く屋外で運用が困難となり 17 時前に 1 日目終了し撤収。柴田先生 (JF3MTM) から 17 時半くらいに現地到着の連絡あり、しばらくすると柴田先生到着で明日の運用に向け打ち合わせしました。田中先生 (JF3JON) も外来終了後到着とのことでした。

### 4月28日

昨日と変わり朝から風もなく、少し日がさして暖かい日でした。8 時に現地到着、間もなく田中先生、柴田先生も合流、加藤先生から差し入れもいただき設営、9 時頃から田中先生 CW 中心で運用開始。その後 MARS 各局も参加。富本先生 (JH3QMF)、長瀬先生

(JK1QLR)、中村先生(JK1AIN)、家田先生(JH3TCC)、米田先生(JM3BCQ)も参加いただき、玉井先生(JH3BVO)にも運用いただきました。途中学会参加で留守となり、柴田先生と田中先生に現場をおまかせしました。少し寒くなり午後3時頃で運用終了。

#### 4月29日

朝から学会参加で運用現場は柴田先生、田中先生にお願いしました。10時ごろもどると昨日参加MARS各局もお見えになり賑わくなりました。天気予報で午後から雨との予報で、雲行きも怪しくなり12時で撤収となりました。ぎりぎり東條先生(JH3AEF)も参加、全員で集合写真。(CQ誌2019年8月号掲載)東條先生と初めてお会いでき、ご挨拶できてよかったです。(その後2019/6/7 3.5MHz CWで1st QSO

できました。ありがとうございました。)なんやかんやで苦労もありましたが無事、形だけでも公開運用ができ本当によかったと思います。今回の記念局開設と公開運用での貴重な経験をさせていただきました。また次回の運用のお役に立てばと思います。MARS 会員各局、本当にありがとうございました。またお空でもQSOよろしくお願いします。



## 第30回日本医学会総会記念局運用思い出話と感想文

### JE9RWF,JA1HLX,JA6DQF 岩堀 嘉和(福井県越前市)

平成30年6月15日のことでした。記念局運用について、JH3AEF 東條先生にFAXをしましたところ、早速メールにてご返事頂いた事が始まりでした。その内容は東條先生より、中部 信越地方としての記念局運用としたいので、福井・石川・富山・長野各県医師会長の記念局許可の為の同意書を貰う様に努力して欲しいとの事でした。それらの同意書をもって、総務省北陸総合通信局(金沢市)、総務省信越総合通信局(長野市)にそれぞれ提出し8J9M、8J0Mの許可申請をするのでと言う内容でした。

他県でしかも全く面識のない医師会長にお願いをする事は生まれてこの方初めてでした。とかく、先ず医師会事務局長に連絡しお願いをする事が一番と思い、石川県医師会事務局長に面会の機会を頂き、アマチュア無線の事から、今回の日本医学会総会に記念局と言う事の趣旨説明を東條先生に知恵づけされた範囲の中で行いました。事務局長曰く“他県の一会員より要望書の同意書の希望は、事務局始まって以来聞いたことがなく、初めてである”と。医師会宛に提出する要望書の内容、文面を教わり、理事

会の先生方に同意を得られる文面づくりを一緒にして頂きました。親切な事務局長でした。

これらをもとに、富山県医師会事務局長にも同様をお願いをさせて頂きました。福井県医師会会長とは、熟知の間柄でしたので、同じ様な文面にて、お願いを致しました。長野県医師会長には、長野県某市の医師会長をされていた一年先輩で同じ研究室、しかも、柔道部にて、お互い汗を流さない？練習相手でしたので、長野県医師会会長にご連絡を頂く事が出来、同意書を頂けました。ようやく、ご指示の各県医師会長公印のある同意書が出来た事を東條先生にご連絡し、各総合通信局に出かける日を打合せすることが出来ました。

某日、金沢駅にて、東條先生と待ち合わせ、金沢市にある総務省北陸総合通信局に出向きました。先生より、既にお約束をして頂いており、二人の担当官に北陸 3 県医師会長の同意書、お願書を東條先生がご用意されている書類を提出しました。説明中、その担当官より思いがけない質問があり、窮地に陥り県医師会長は不在で事務局長に電話をし、その担当官の意を伝え答えを頂かなくてはならない事がありました。次、長野市に行く為、金沢新幹線駅に行く途中、担当官とのやりとり心ならずも、果たして許可降りるだろうか等と二人で心穏やかでない気持ちをはなしておりました。

新幹線にて、長野駅で下車しタクシーにて、総務省信越総合通信局と行先を告げ着いたところは全く違う施設でした。再度行先を告げ、ようやく、目的地に着きましたが、運転手さんは“すみませんでした”とも言わず、高い料金を要求し、一言文句をと思いましたが“ぐど”我慢でした。信越総合通信局の担当官は一人で、提出したペ

ージをめくるだけで“はい、分かりました”と全くの拍子抜けの感があり手続き終了しました。帰途長野駅で東條先生とうどんを食べたのは思いで深い出来事でした。

記念局運用は、JI1VAH 天谷先生のご采配により大変良好な運用が出来ました事は真に有り難い事と感謝申し上げる次第です。記念局の QSL カードのデザインは東海北陸信越の地図が描かれ、3つの記念局コールサイン、医療の現状も書かれ素晴らしく JA1KXT 相田先生のご才能を垣間見る一品でした。JP7FSO 高瀬先生の QRZ.COM は多彩なご才能をお持ちと大変羨ましい限りで、他局より専門家に依頼したのかと言われました。jmars の管理人であります JH3TCC 家田先生が一時パンク寸前も度々でしたが、コントロールされ、お蔭様にて、記念局運用、連絡事項にお力を頂きました事も大変有り難い事と思いました。

第27回、第29回の記念局運用に比べ会員皆様が志を一つにして楽しく沢山運用されました事は大変良かった事と思っております。私は、第27回医学会総会 8J3GAJMC/9 では2007年5月316局、第29回 8J3M/9 では860局、今回第30回記念局では、8J9M 748局、8J2M/9 が247局、8J0M/9 が433局でした。7mhz、3.5mhz の電話での運用が主でしたが、3.5mhz では、或局(2局いましたが)より、3.5には、その昔から運用方法には、3.5の常識があると聞いたことがない話をするお邪魔虫には閉口しました。カード枚数が多いだけ印刷に時間を要しましたが思いで深い事でした。今は、お相手頂いたアマチュア無線局よりのカードがいつ届くかな、どの様な絵柄のカードかなと言う楽しみを待つこの頃です。

# わたしと父

## JRONQU 山本 賢(新潟県三条市)

私は神経難病の HAM ではない。アマチュア無線の HAM である。

今は、令和元年、第二次世界大戦、終戦から 74 年を迎えた。

私の父は明治 44 年生まれ、昭和恐慌で破たんした荒物屋を営んでいた祖父母を抱えながら、苦学して新潟医学専門学校を卒業。その後(草生水、臭水)と呼ばれる、燃える水(原油)が湧くことで知られていた寒村の診療所に招へいされたと聞いている。農家生まれの産婆をしていた母と結婚し、私は 1942 年 11 月 29 日生まれました。まもなく国家総動員法で、父は応召。私は下関まで母の背中に背負われて見送りに行ったと聞かされている。日ソ中立条約を破棄したソ連軍による侵攻。父は 1945 年 8 月 15 日満州で終戦を迎え、その後、無事に帰還する事ができたのだ。私の記憶には帰還の時のことは残念ながら分からない。また、父は私達に混沌とした大変な時代のこと、悲惨な戦争体験のことは日常を取り戻しても封印したままだった。これらの概要は全て伝聞である。まだ国民皆保険制度が施行される前だったと思う。診療の合間に茶の間に張られたワイヤー、机の上にアルミのシャーシのままの裸のラジオ、半田ごて、スピーカー、トランス等がゴロゴロ。手に入りにくいパーツ、情報の乏しい田舎で BCL ラジオを聞きたい欲求から好きなラジオを自作、JOAK を聴取。いつの間にかピーピー・ガーガーと真剣にダイヤルを回している時の父

の背中がうっすらと私の記憶の中にある。

例えば。「尋ね人の時間」流しっぱなしのラジオからは

昭和 20 年春、〇〇部隊に所属の××さんの消息をご存じの方は、旧満州国竜江省チチハル市の〇〇通りで鍛冶屋をされ、「△△おじさん」と呼ばれていた方は、日本放送協会の『尋ね人』の係へご連絡下さい。宛先は東京都千代田区内幸町、内外(うちそと)の内、幸いと書いて「うちさいわいちょう」です。

要旨がアナウンサーによって淡々と抑揚なく読み上げられたのを覚えている。

また、織井茂子さんの歌う「君の名は」、「黒百合の歌」の作詞・作曲は、すべて菊田一夫・古関裕而のコンビである。「忘却とは忘れ去ることなり忘れ得ずして忘却を誓う心の悲しさよ」というナレーションが流れる。ラジオ連続放送劇は私の父母のお気に入りであったことを覚えている。

私の潜在意識の中にこの様な父がいて、私も何時とはなしに HAM になったことは間違い無い。

今回、8JOM 記念局運用の機会を与えて下さったメンバー各局に感謝申し上げます。

また、知力、気力、体力の衰えた私を無線で奮い立たせてくださった各局に、衷心よりお礼申し上げます。

日本医師アマチュア無線連盟の益々の発展を祈念します。

# 日本医学会総会記念局に参加して

## JH3TCC 家田勝幸(和歌山県岩出市)

医学会総会の記念局運用は大阪総会の時が最初だったように思いますが、この時は参加しなかったようでログを見ても交信した記録がありません。コールサインも日本医学会総会の英語名の頭文字をつないだようなかなり長いコールサインだったように思います。

電監との交渉も、京都総会では東條先生、狭山先生のご尽力で参加局各自所有の50ワット機をまとめて登録してもらい、各自の登録機で電波が出せるようになったのでかなり効率よく運用できるようになりました。また同じコールサインが同時に出ないようにメーリングリストで交信するという宣言をしてから電波を出すというのはかなり画期的なやり方だと思います。今は紙ログだけしか使わないという局長さんはあまりいないと思います。ハムログ等の電子ログを使う場合がほとんどで無線機の隣にはかならずパソコンもあるので、メーリングリストを使うのはなかなかのアイデアだと思います。コールサインも8J3Mと、すっきりなって交信も楽でした。

今回の名古屋総会ではもともと、2, 9, 0は一つのエリアだったからと、東海、北陸、信越電波監理局まで足を運んで8J2M、8J9M、8J0Mの三つのコールサインをもらおうという、東條先生ならではのアイデアかと感心しました。JR2GPR 林先生は会場局の運用場所の確保にご苦労頂いたのも感謝です。

当局のロケーションは田舎で周囲は田んぼばかりですが、なぜかノイズがひどく、ひどい時はS9+まで振れます。こちらが出したCQに回答してもらってもノイズにかき消されて取れない

ことがあるのでなかなかCQは出しづらいです。

8J3Mの時は10メガ帯ではほとんどノイズがなかったので10メガオンリーでした。今回はコールサインが3つあってかなり余裕で波を出せるかなと思いましたが、参加局も多く、実際には仕事の関係もあって、皆さん大体、波を出せる時間帯がにたような時間になるため、なかなか思うように出せないこともありました。今回も10メガはノイズがなく、らくちんかなと思っていましたが、10メガでCQ出してもあまり反応がありませんでした。夜中の3.5メガ帯が大してパイルにもならず、結構局数を稼ぐことができました。8J3Mの時、交信を初めて10分もするとものすごいパイルアップになり、面食らいましたが、今回もパイルアップになってしまうと相変わらずまくさげませんが、前回よりはかなり上手くなったと思います。ペディション局のように”UP”と打つわけにはいかずRITでわずかにずらしながらなんとなく取れたコールの一つか二つの文字を打つというような細工の仕方もなんとなくできるようになった気がします。通常のQSOでパイルアップになることは無いのでパイルアップのさばき方の練習になり、結構楽しめました。

当局のちゃちな3.5メガのロータリーダイポールでは中国や極東ロシアまでしか飛ばなかったのですが、JP7SFO局がQRZ.comにアップしてもらったおかげでWから呼ばれたのは感激でした。自分のコールサインでCQ出してもなかなかとつてももらえないことが多いですが、記念局のコールサインだとたくさんの局から呼んでももらえ、パイルアップになることも再々ありま

す。楽しい3か月間でした。

前回も、今回も JA1KXT 局作成の記念 QSL カードも素晴らしくきれいなカードで感激しました。記念ステッカーも素晴らしいアイデアと思

ます。記念局運用も回を重ねるごとに進化しているのがよくわかります。次回の総会でも記念局運用ができることを願います。

## MARS 各局 こちらは JM3FUW 中島です

### JM3FUW 中島 静一(大阪市)

まず記念局の運用につき、局免許申請、医学会総会事務局の折衝に関してご尽力いただきました東條先生、かっこいい QSL カード&ステッカーに関しては相田先生、運用ルール制定に関しては MARS 各局に大変お世話になりました。お陰さまで非常に楽しく運用できました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

当局は当初、VHF、UHF での運用のみを考えておりましたが、HF でのコンディションが悪く、特にハイバンド 21MHZ、28MHZ で運用する記念局がほとんど無い様子でしたので、夜診が終わってからハイバンドでもボチボチ CQ を出しました。

ハイバンドはワッチしても何も聞こえないのですが、CQ 出しますと、結構呼ばれました。ワッチ局は多いのですね。時々7エリアや8エリアからも Call されることもあり電波は見えませんが、「伝搬は、やってみないと、わからない！」そこがアマチュア無線の醍醐味と申しましょうか、やっぱり声は出してみるものだ、と思いました。

医学会総会は最終日に現地で運用させてい

ただきました。7MHZ で運用させていただきましたが、コンディションも良く、さらに連休中であり多くの局から Call back あり！これまた楽しく運用させていただきました。

現地の記念局運用は最終日でしたので撤収作業もお手伝いさせていただきました。アンテナは駐車場内に工夫して張られており、設営された先生方のアイデアや試行錯誤、運用への愛情が垣間見れました。現地運用部隊各局ありがとうございました。

今回の運用に際して QSL カードの整理係をさせていただいておりますが、SWL 局のカードが意外と多く、珍しいコールサインの記念局の運用にはこの辺りの配慮もいることを痛感しました。

そうそう、ちなみにステッカーは三輪自転車(アンテナが付けられるモービル局仕様!)に貼っており、妻@JN3TUO がしばしば乗り回しております(アンテナなしですが HIHIHI!)

こちらは JM3FUW でした

**第44回MARS大阪総会は、令和2年5月23日～24日**

**JR大阪駅前の大阪第一ホテルで開催します**

# 日本医学会総会特別記念局

## JO3RUL 田畑 知己(兵庫県明石市)

前回の京都での医学会総会では、京都国際会議場内の階段の踊り場での運用でしたが、今回は2月から4月の3か月間のロングな運用をすることが出来、昨年の特記局参加申し込み以来、自宅以外からの移動運用と HF 以外の430や145MHzでの運用も考えていました。

自宅常置場所(兵庫県明石市 #2704)以外からの運用—

### 8J2M/3

2/10 西宮市(東六甲展望台駐車場)

2/24 淡路市

### 8J9M/6

3/3 福岡県京都郡苅田町(西日本ハムフェア会場駐車場)

### 8J9M/3

3/10 尼崎市(関西ハムシンポジウム会場駐車場)と

西宮市(東六甲展望台駐車場)

3/24 神戸市北区(六甲山上)

3/29 西宮市(東六甲展望台駐車場)

### 8J0M/3

4/5 西宮市(東六甲展望台駐車場)

4/1 神戸市灘区(六甲山上)

4/27 明石市

でそれぞれ行いました。

3月には西日本ハムフェアに行った時に会場内の駐車場から430と145MHz FM で記念局のサービスを行いました。16 での特別記念局の運用はこれが最初で最後の貴重なサービスが

出来ました。引き続き、尼崎市であった関西ハムシンポジウム会場でも参加者へ/3 でサービスしました。4月には特別記念局に加えて、連盟の社団局 JM1ZZM を/3 で自宅から発信し、多くの一般局に社団局のカードを JARL ビューロ経由で one way にて発送しました。2 月からの連盟メンバーによるこの特別記念局の運用で名古屋での医学会総会の PR とともに、この医師アマチュア無線連盟の存在も同時にアピール出来て、一般の局にはいっくらは認知してもらえたことでしょう。さらに、Dr を始めとする医療関係者本人、その家族、友人、患者と交信する機会にも恵まれて、新入会のメンバーを得ることも出来ました。運用当初は医学会総会会場での公開運用へ一般局も参加してもらうように、交信ごとに PR のインフォメーションを入れてきましたが、途中で学会事務局から公開運用へ一般局が参加出来ないとのことで、残念ながらインフォメーションの内容も変更することになりました。六甲山からのサービスでは430MHz FM で一気にパイルアップ状態になって、FM 波が重なってしまうと他の局が全く取れなくなってしまい、待機されていた局をかえって待たせることになってしまいました。

次回は東京での医学会総会、今回の大会での経験を踏まえて、特別記念局の運用を楽しみたいですね。今回の特別記念局運用に際して、免許申請にご尽力いただきました OM 先生方、関係の総合通信局担当者、医師会関係者の方々、また期間中に交信いただいた一般局皆さんに深く感謝いたします。

# CW デビューの御礼

## JH7HVF 菊池俊彦(岩手県遠野市)

JH7HVF こと岩手県遠野市の菊池俊彦です。

2019年春の記念局とのQSOを通じて、CWにデビューすることができました。この場を借りて、QSOして頂いた局長様に改めて御礼申し上げます。

2019.3.21 3.5MHz CW 8J9M/0 (姉崎先生 JH0LME)

2019.3.28 3.5MHz CW 8J9M/3 (家田先生 JH3TCC)

2019.4.6 3.5MHz CW 8J9M/1 (天谷先生 JI1VAH)

2019.4.12 1.9MHz CW 8J2M/1 (相田先生 JA1KXT)

一番初めのCWのお相手は、JH0LME 姉崎先生でした。今まで、CWで電波を出したことがなかったので、おそろおそろ(勇気をだして)電波を出しました。幸いすぐ取っていただき、ほっとしました。

記念局は、あらかじめメーリングリストで、コー

ルサイン、時間、周波数が分かっているので、助かりました。天谷先生には、「CWは度胸だ」とメールでアドバイスいただき、感謝しております。

また、2019年5月よりJI1VAH 天谷先生が始めたCWのロールコール(毎週金曜日22時、3.526MHz)も楽しいです。あらかじめ、コールサインの呼ばれる順番と、通信内容が分かっているので、落ち着いて聴けるので安心です。

CWを始めて無線の楽しみが増え、大変感謝しております。

もちろん、実力はまだまだです。聞き取るのが、特に難しいので、毎回ボイスレコーダーに録音して、スピードを遅くして再生して復習しています。打つのもまだ遅いです。

相田先生には、「コンテストで慣れるように」とアドバイスされ、コンテストの時(オールJAなど)や記念局を狙って、CWの電波を出しています。いつの日か、フリーにCWQSOできることを夢見しています。



2018年9月2日 岩手県釜石はまゆりトライアスロン (私の趣味の一つです)

## 庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの  
事務手続きは**MARS事務局**へ。

〒028-7303 八幡平市柏台2-8-2

東八幡平病院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 0195-78-2511

F A X 0195-78-3437

E-mail tadato@rnac.ne.jp

### 年会費の振込先が変わりました

2019年度の年会費(8000円)は郵便振替の  
振込用紙を同封させていただきましたので、お  
振込よろしくお願ひします。インターネットバン  
キングでのご送金も可能です。

ゆうちょ銀行からは、

記号 10610 番号 55919841

銀行振込の場合は、

ゆうちょ銀行 ゼロロクハチ支店(068)

当座 5591984

日本医師アマチュア無線連盟

### MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、E-mail または USB メモリーもしくは CD-R の郵送でお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、プリントアウトした原稿もファックスまたは郵送してください。なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただくことがありますので、ご了承ください。

## 編集後記

医学会総会記念局の免許状を交付していただくべく御尽力くださったOM方のおかげで、平成最後の3か月間、**8J2M**、**8J9M**、**8JOM** の3局を運用できました。

当局は当初は 7MHz,3.5MHz の SSB で1時間あたり約100局ペースのものすごい勢いで交信しておりました。でも、突然何やかんやと言われだして嫌になってダウン。1か月以上もロスをしましたが、気を取り直して後半はCW専門となり、この時のために整備した 1.9MHz用のダイポールの出番がやってきました。

でもにわか CW プレーヤーではたかが知れている。コールサインのミスコピーを連発していたことが後から判明。公開運用での ALL JA コンテストで2局コールサイン間違いで減点を食らいました。ミスが分かった相手局には QSL カードを再送することができるけど、ミスがわからなければ送りようがない。ご迷惑をおかけした交信して下さった局長様には伏してお詫び申し上げます。(逆に交信した覚えの無い局にも QSL カードを送り付けた可能性もあります。)

来年は40年前に(現在 MARS 会員になって下さってるアマチュア無線研究部の先輩に)叩き込まれたツートツーツーツーを使いこなせるようになれるかなあ?

DE JF3JON

### 日本医師アマチュア無線連盟会報 (第79号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：令和元年11月10日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel 073-425-1341 Fax 073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>

E-mail [info@nishioka.co.jp](mailto:info@nishioka.co.jp)